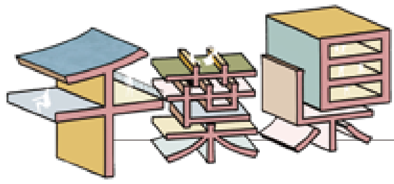
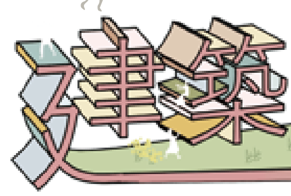


# 35th Chiba Architecture Student Award

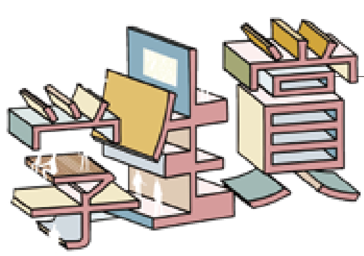
参加大学

- 千葉大学　工学部 総合工学科 建築学コース
　工学部 総合工学科 都市環境システムコース
- 千葉工業大学　創造工学部 建築学科
- 東京理科大学　理工学部 建築学科
- 日本大学　生産工学部 建築工学科
　短期大学部 建築・生活デザイン学科
　理工学部 海洋建築工学科
　未来科学部 建築学科
- 東京電機大
- 千葉職業能力開発短期大学校　住居環境科




参加高校

- 千葉県立市川工業高等学校
- 千葉県立東総工業高等学校




session (of a legislature)

2023 3/11 SAT・3/12 SUN

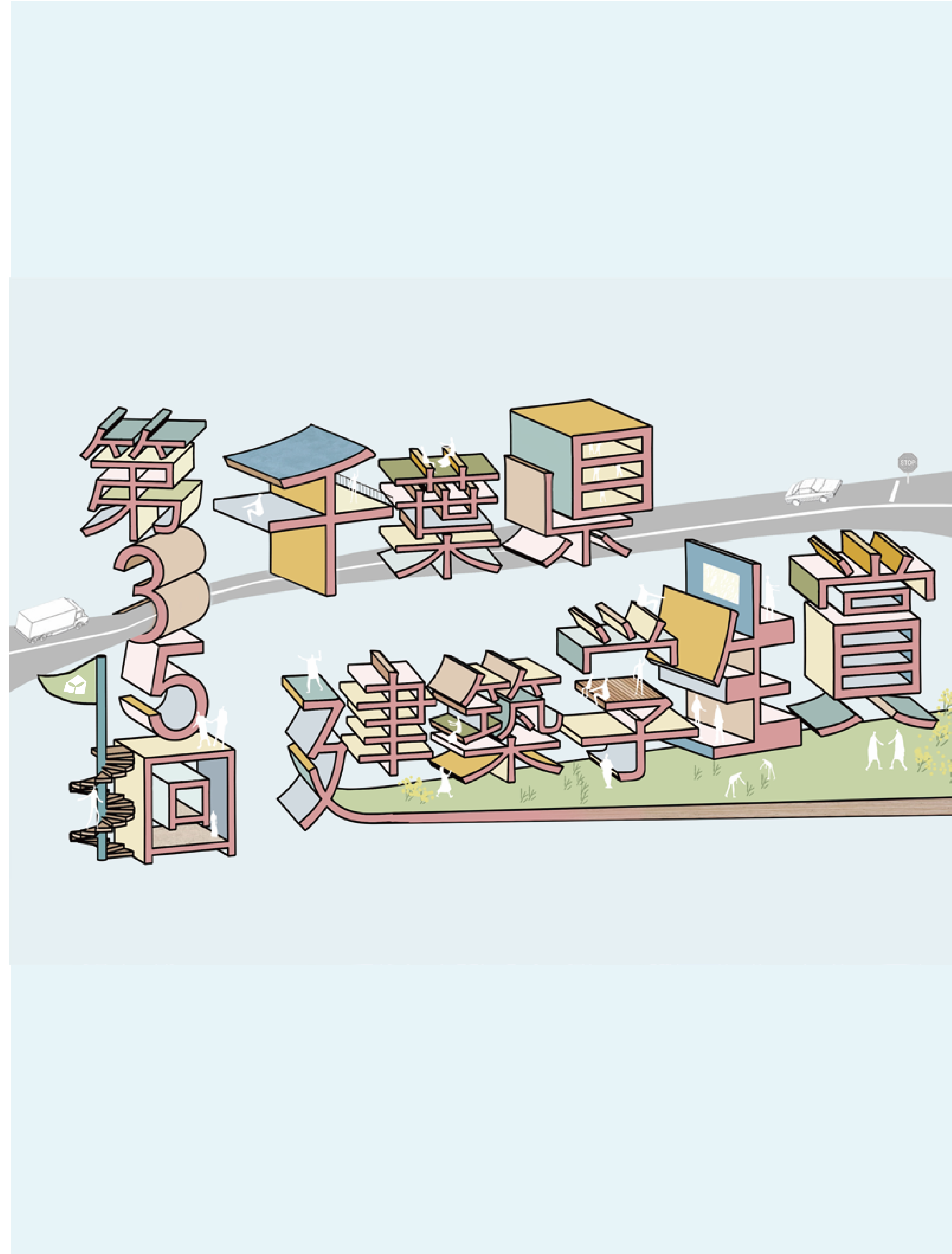
venue

Qiballきぼーる 1F アトリウム

第35回千葉県建築学生賞 2023

千葉県建築学生賞協議会






表紙デザイン ▸ 佐藤 有希子（東京理科大学大学院　第34回最優秀賞）

CHIBA ARCHITECTURE GRADUATES PRIZE 2023

# 第35回 千葉県建築学生賞

## 大学の部

NO. 1 **入れ子とギャンブレル**
生業の空間資源である堆肥場と旧牛舎を活かした村おこし
山下 能瑠…千葉大学 / 工学部 / 総合工学科建築学コース

NO. 2 **千葉県印西市木下地区におけるフリースクールの提案**
空き家活用による地域再生を目指して
川崎 玲雄…千葉工業大学 / 創造工学部 / 建築学科

NO. 3 **柔軟な建築**
機構を用いた建築の可能性
酒井 裕太…東京理科大学 / 理工学部 / 建築学科

NO. 4 **常ノ伽藍**
尾沢 圭太…日本大学 / 理工学部 / 海洋建築工学科

NO. 5 **シン・旦過市場　再生計画**
津留 悠真…日本大学 / 生産工学部 / 建築工学科

NO. 6 **なつかしくて優しい町を留める方法**
石田 開…千葉大学 / 工学部 / 総合工学科建築学コース

NO. 7 **終のすみか**
孤独な最期を迎えない住まいの物語
岩間 小春…千葉工業大学 / 創造工学部 / 建築学科

NO. 8 **祝うように住まう**
住宅形式の更新による他者と島民の庭
香西 智貴…東京理科大学 / 理工学部 / 建築学科

NO. 9 **転がる石灰岩、秩父の森を利する**
石灰石加工工場に対する材木加工工場と見学塔の挿入による産業の変化
川内 俊太朗…日本大学 / 理工学部 / 海洋建築工学科

NO. 10 **お寺で子どもを育む屋舎**
柴又帝釈天における小学校の提案
山田 楓子…千葉大学 / 工学部 / 総合工学科都市環境システムコース

NO. 11 **まちの庭**
君の居場所
江頭 古都奈…日本大学 / 短期大学部 / 建築・生活デザイン学科

NO. 12 **都市の骨核**
大屋根が織りなす行政と市民のインターフェース
太古 尚稀…東京電機大学 / 未来科学部 / 建築学科

NO. 13 **Case-α「生々流転」**
大槻 瑞巴…日本大学 / 生産工学部 / 建築工学科

NO. 14 **つながるファミリー**
児童養護施設の提案
小谷 俊…千葉職業能力開発短期大学校 / 住居環境科

NO. 15 **ラストランのあとで**
馬に親しむサードプレイス
椿 未来…東京電機大学 / 未来科学部 / 建築学科

## 高校の部

NO. 1 **椿ノ海図書館**
増島 莉夏…千葉県立東総工業高等学校 / 建設科

NO. 2 **中庭で広がる人との絆**
中村 ダイスケ…千葉県立東総工業高等学校 / 建設科

NO. 3 **重なり繋がる家**
藤ヶ﨑 遼…千葉県立東総工業高等学校 / 建設科

NO. 4 **Start Line**
ここから始まる関係
川崎 未世…千葉県立市川工業高等学校 / 建築科

NO. 5 **Local Residents House**
多様な地域住民が交流し、支え合える空間
駒ヶ峯 翔…千葉県立市川工業高等学校 / 建築科

## 開催日時・場所

2023
**3.11 SAT – 3.12 SUN**

11日 土 10:00~20:00(作品展示・公開審査・表彰式)
12日 日 10:00~15:00(作品展示・なの花会レビュー)

**Qiball[きぼーる] 1F アトリウム**
所在地…〒260-0013 千葉県千葉市中央区中央4-5-1
https://qiball.jp/

## 目次


03 会長 / 審査員長挨拶
05 特別審査員挨拶
07 大学作品
37 高校作品
39 審査経過
43 なの花会 レビュー
47 市民の声
51 審査員・特別審査員紹介
55 協賛
56 主催者団体

# 開催の報告と挨拶、審査総評

*河原　泰（かわはら ゆたか）*
千葉県建築学生賞協議会 会長 / 審査委員長

## 開催報告

第35回千葉県建築学生賞は、2023年3月11日（土）と12日（日）に千葉市中央区のQiball（きぼーる）アトリウムにおいて開催されました。コロナ禍が終息に向かう中、大学生15作品、高校生5作品が一堂に会し、多くの一般市民にも見守られながら、無事終えることができたことを主催・後援・協賛の団体企業の皆様や協議会メンバーに心から感謝申し上げます。

千葉県建築学生賞は、千葉県内に建築系学科を有する大学との意見交換・意識交流を図る場を創出し、卒業設計に焦点を当て、優秀な作品を表彰することで将来性溢れる学生たちの成長を後押しすることにより、建築設計が広く社会に資するようになることを目的に1988年に発足した活動です。千葉県内の建築設計に係わる4団体が、建築を業とすることを目指す学生たちにエールを送るという主旨の下で、各会より派遣された委員が、大学・企業と連携しながら運営する協議会の形態は、今日の卒業設計展等が多く行われる中でも、他に類を見ない活動であると認められ、2022年5月に日本建築学会教育賞（教育貢献）を受賞しました。また2023年4月には、科学技術に関する理解増進において顕著な成果を収めたものの功績を讃える賞である「令和5年度文部科学大臣表彰 科学技術賞（理解増進）」を受賞しました。今後もこれらの賞を励みに、次世代の後継者育成の場として、わが国の建築文化の持続的な発展に貢献するように千葉県建築学生賞協議会の活動を継続していく所存です。皆様のさらなるご指導、ご支援をよろしくお願いいたします。

今回は、各団体選抜の建築家、千葉県にゆかりのある建築家に加え、昨年はZoomで参加していただいたアントニオ・エスポジト教授にもイタリアから来日していただき、白熱した審査を行いました。例年通り最優秀賞、優秀賞、特別賞を選出し、これらの中から3作品を公益社団法人日本建築家協会（JIA）主催の「全国学生卒業設計コンクール」に千葉県代表として送り出しています。また構造的に優れた作品に贈られる「JASCA賞」、過去出展者の会から贈られる「なの花会賞」も選出いたしました。さらに会場にお越しいただいた一般市民の方に建築家とは異なる視点で面白いと思った作品を選んでいただき、その得票が一番多かった作品を「市民賞」として選出いたしました。

## 審査総評
## 「これから時代の建築とは」

審査委員長としての立場としての総評としては、例年に比べて特定の傾向がみられず、異なるタイプの作品が集まったように感じられました。卒業作品は古くは高度経済成長期の力強い建築から、バブルの時代の夢のような建築、バブル後の内省的な建築、移り変わる世相に柔軟な弱い建築、コロナ禍のつながりを求めた建築など社会の動きを敏感に現していたように思います。

今年の作品の中で、最優秀となった「シン・旦過市場　再生計画」は、定型のユニットを上下左右に反転させながらパズルのように組み合わせることで複雑な形を生み出すというある種のゲームのような建築の作り方でした。これをインスタントに終わらせることなくトライ&エラーを繰り返したことで魅力的な空間が創出され最優秀に選出されることになったのですが、発想としてはプレファブリックの経済的な試行です。

一方、優秀賞に選ばれた2作品は全く違う傾向にあって、「祝うように住まう」は現地でリサーチを重ねた結果を丁寧に建築に紡いでいくというプレファブリックとは対極的な手仕事の一品生産です。またCase-α「生々流転」は、横山大観のアートとの融合で、ヘザウィック・スタジオなどに通じる彫刻的空間を体感する独創的な建築です。

その他にも特別賞を受賞した「柔軟な建築」はキネテッィクな変態に焦点をあてた空間のない建築、「転がる石灰岩、秩父の森を利する」はプラントに寄生するテクノロジー建築、市民賞を受賞した「終のすみか」は木造住宅のライフステージに応じた段階的リノベーションとまったく異なる手法の建築の作り方を提案していて、学生の興味が多様化していることを感じました。

3年に及ぶコロナ禍は確実に時代を変えたのだと思います。多様な価値観を認める世の中は、次の時代を模索しているのでしょう。今はまだどのような時代になるのかわかりません。10年後に振り返った時に、この中のいくつかの作品が時代を先取りしていたと思えたならば、発表の場を提供した千葉県建築学生賞の意義は深まるでしょう。そしてその作品は今回の賞に選ばれていないかもしれません。それだけ審査員もどのような作品に価値を見出せばよいのかわかりにくい時代にいるのだと思います。

学生の皆さんは、多様性を認められる世の中だからこそ、自らの目線で感じ、自ら信じることができる建築を突き詰めれば、「これからの時代の建築」に通じる作品を生み出せるのではないかと思います。頑張ってください。

# 特別審査員 挨拶

*Arch. Antonio Esposito*
特別審査員

今年も特別審査員として審査する中で、日本の大学の様々な建築関係学部で選ばれた作品の質の高さと的確なテーマ設定に改めて感動しました。特に、特別審査員として参加した過去4回の中で、作品テーマがどのように変化したか、私の教えるイタリアの学校と比較する事は非常に興味深いものでした。

日本の大学でも都市や農村に限らず、老朽化によって使われなくなった建物や土地の放棄、景観の悪化への関心が高まっている様です。私にとって、これらを効果的に説明できるのはノスタルジー「郷愁」と言う言葉です。かつての繁栄から放棄へ至った原因とそうなった運命への郷愁です。しかし、今回のファイナリストの作品達が示すように、郷愁は廃れ逝く物への哀悼を超えて、新たに再生する建築と都市群の可能性を見せてくれました。

私たちは、歴史と伝統を高く評価し、過去を振り返り検証して現在に活かそうと取り組む時代に生きています。建築家として歴史とその時代の物語を知り深く考える事は不可欠です。歴史が「新しい建築」には役に立たないと思った時でさえ、常に何かを示して来ました。歴史の背後にある何かを考え、それらを探す感覚で時間を旅する事、地球上の全ての地域に存在する建築文化を創る本質が見えてきます。

この事から見えてくるのは、コミュニティーと土地は決して一つの解釈、固定的解釈では不可能であり、歴史の流れの中で絶え間ない変異により重なり合ったり、取り替わったりする為、「多面的解釈によってのみ解釈される」と言う事です。それらはそこで起きる出来事に従い、豊かさと適応性を引き出します。

近年の建築教育あるいは一般的建築文化の領域において、「場所の固有性」への画期的な解釈の変化を見る事が出来ます。それは、完全性と純粋さで飾られた固定観念（虚偽で実証不可能な）からは程遠い、世論を誘導し、日常生活の中で多くを条件付けている愚かな保守主義です。

その代わりに、「土地のアイデンティティは複数あり、その土地は歴史を通じて変化する状況に適応してきた」と主張する事は、アイデンティティの概念を否定する事ではなく、その展開を妨げてきた固定概念から開放し、多様な解を促す。そのような視点で見ると、提案された全ての作品に、さまざまな地域での建設の起源と理由（技術と形式について）を認識する重要性が伺えます。

来るべき未来のランドスケープ、風景を考える事は、過去数十年間のその土地の変遷を注意深く観察する事です。私たちはその土地の変容を見届けてきた観客であると同時に、

其処での出来事を演じるアクターでもあり、それは時代の一シーンを創るとも考えられます。

日本の都市と農村の過去から現在、未来への歴史は、戦後の成熟と変容の時期を経て、それらの維持と修復に専念する比較的穏やかな時期になっていると考えます。

この様に、もし私たちが非常に勤勉な役者であったなら、今こそ物事の注意深い観察者となって「農村と都市のボロボロになった風景を大きく作り変える事を考える時」が来ました。

変わりゆく都市景観の中に住む一人の住民、役者、傍観者としてでは無く、通りすがりの人として、同時代の観察者の視点を持ってです。

様々な土地を巡る旅、歴史を考え様々な土地を知り、部外者の目でそれらを見る。これもまた、私たち建築家がカルチャーを身に着ける特権であり、いつもの場所を異なった視点でより良く見ること、より大きな洞察力とより批判的な観察の精神でそれらを理解する事を私たちに教えるのです。それは、私たちが日常生活の中で無意識に見ている物が、全く異なる視点ではどれほど並外れているかを発見させてくれます。

最後に、日本、イタリアあるいは世界中の若い建築家達へ言いたい事は、土地の持つどんなに小さな特徴でも注意深く観察し、理解して生かそうとすることです。小さな地域の調査・研究は其の土地固有の限られたコミュニティーの限られた人達の事ではあるけれど、其処に生まれる普遍的な事実と手法は、その地域全体の景観を取り戻す決定的なステップとなります。

その小さな作業が都市の衰退を救う一歩となるである事を結びに学生諸君に贈ります。

今年も特別審査員として千葉県建築学生賞の審査に参加する事が出来、主催者並びに関係各位に感謝すると共に、特にこの機会を作って頂いた友人の建築家 寺川典秀氏に深く感謝いたします。

*The invitation gave me the opportunity to once again appreciate the high quality of the works selected and the themes dealt with in the various Japanese architecture faculties. It was very interesting to observe how the themes of study have changed over the last four editions of the award in which I participated as a special judge and to compare them with those that recur in Italian schools.*
*It seems to me that even in Japanese schools there is a growing interest in disused buildings and the so-called territorial relics, those places that have deteriorated due to careless use of the land and neglect of landscape maintenance, both rural and urban.*
*Perhaps the term that can effectively describe an attitude of care and attention towards these problematic cases is nostalgia. Nostalgia for the way places were once carelessly exploited and then abandoned or destined to be abandoned. But nostalgia can go beyond commiseration and, as the overall award finalists, become a positive sentiment capable of able to take the mind and heart beyond the impasse, break through the dead end and offer a vision of what buildings and landscapes could become.*
*We live in an era that manifests a high regard for history and traditions, an era that looks backwards and considers the past to address the present. Knowing history and stories is an indispensable tool for the architect. It always has been, even when people wanted to pretend it was not useful for the 'new' architecture. Travelling through time with the sensitivity of discerning the reasons behind things and interpreting them with discernment is an essential prerogative of cultured architecture in every corner of the planet.*
*The ultimate sense that these works convey is that communities and the territories they inhabit can never be interpreted according to a single, fixed reading. Indeed, identities possess multiple facets and experience constant mutations, overlapping and supplanting each other; they follow events and derive enrichment and adaptability from them.*
*In the schools of architecture and architectural culture in general in recent years, we can clearly see an evolutionary interpretation of the concept of the identity of places, far from the fixity seasoned with integrity and purity (which is, moreover, false and indemonstrable) that is the prerogative of the boorish conservatism that has taken over public opinion and now conditions our lives in so many aspects of daily life.*
*Asserting instead that the identities of territories are multiple and that throughout history they have adapted to changing circumstances, is not tantamount to denying the very concept of identity but to making it prolific, to rescuing it from the sterilisation of constantly identical replication. In all these projects, one can see the demand for awareness of the origins and reasons for the constructions (in technique as well as form) in the different regions of the country.*
*Taking care of the landscape of the third millennium means carefully observing the state of places at the end of sixty years of land transformations. We can try to consider the landscape as a theatre scene in which we have been and still are, at the same time, actors and spectators of its continuous metamorphosis. In the present and future history of the cities and the countryside, we can consider that the period of great ferment and transformation following the end of World War II can now alternate with a period of relative calm in which man is mainly dedicated to the maintenance of what exists and the mending of what is ripped and torn.*
*Thus, if in the recent past we have been extremely diligent actors, the time has now come to make ourselves conscious spectators of the state of things and to consider the need to face a period of extraordinary maintenance, of great revision of our battered landscape, both rural and urban, trying to identify ourselves not only in the part of the inhabitants, actors and spectators at the same time of the urban scene in transformation, but also in the part of those who observe cities only in passing and for a limited time, simple spectators of the same scene.*

*Travelling in geography as well as in history, getting to know other places than our usual ones and looking at them with the eyes of an outsider. This, too, has always been a prerogative of the architect's culture, as it teaches us to look better at our usual places, to understand them with greater acumen and a more critical spirit of observation. It leads us to discover how extraordinary some things are that in everyday life unconsciously appear ordinary to us.*
*Finally, this is what I feel I can suggest to young Japanese architects, as to Italians or anywhere else in the world: it is necessary to take care of a piece of land, to observe it, to know it, to maintain it. There is no doubt that the studies applied to a small area are mainly addressed to a circumscribed audience within a territorial community, but the sum of the attention paid to circumscribed subjects can determine a decisive step towards the redemption of an entire landscape. This care can save us from its dissipation. The project is part of the cure.*

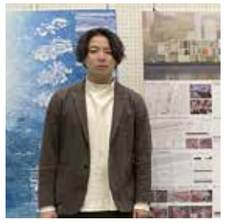
*I am very grateful to the organisers of this edition of the Chiba Architecture Prize and in particular to the architect Noribide Terakawa to whom I have a very long friendship and a mutual relationship of esteem.*

［訳文:柳田 富士男：*Translated by Fujio Yanagida*］

最優秀賞　JIA出展作品

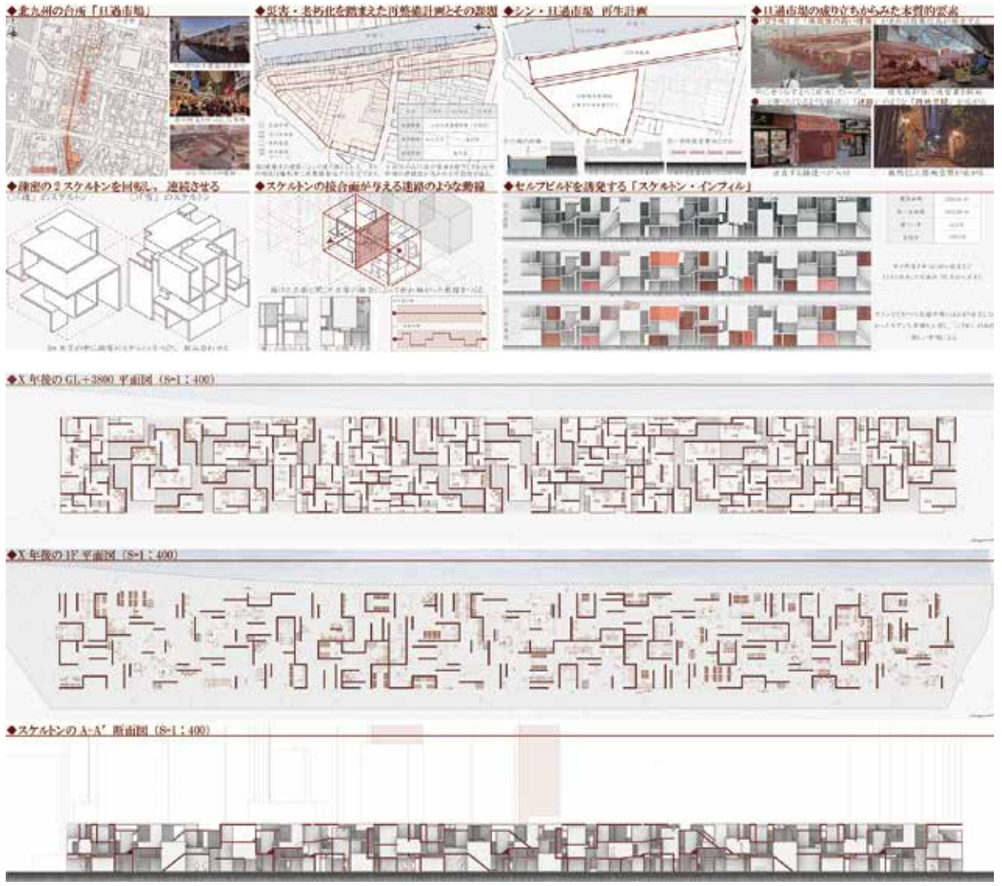
# シン・旦過市場　再生計画

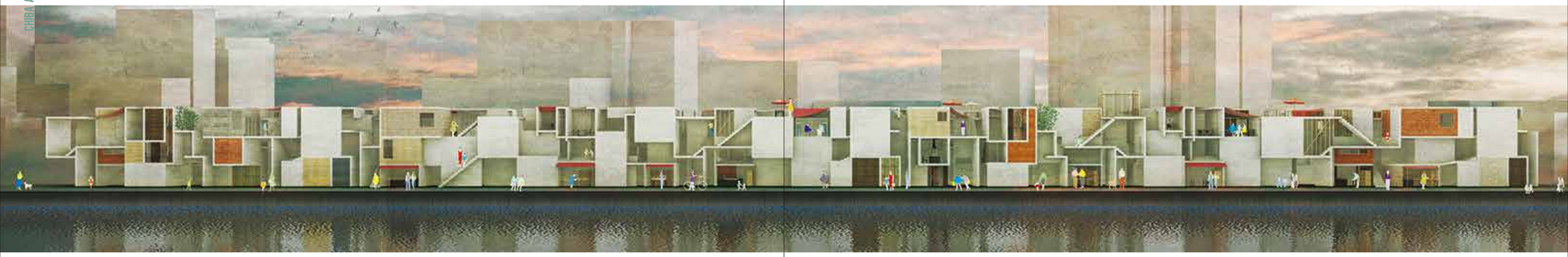
**津留 悠真** つる ゆうま　　日本大学 / 生産工学部 / 建築工学科



大正時代に生まれ，北九州の台所として親しまれている旦過市場はセルフビルドによって拡大してきた。カオスな雰囲気が漂う場所であるが，数多の災害に見舞われ現在再整備が計画されている。本計画では中長期的視座をもち，スケルトン・インフィルの概念を用いることで特有の文脈の継承を試みる。

まずは，地区全体の更新計画として河川の拡幅，計画敷地の設定。同時に仮営業地も準備した。次に1辺8mの立方体の中に「疎」「密」それぞれのスケルトンを設計し回転させ繋げていく。その際，現地のリサーチから本質的に重要な要素を抽出しデザインする。こうしてできる大きな「スケルトン」に入居者それぞれが「インフィル」を挿入していくことで，店舗ごとの個性が表出する。増改築が繰り返されるうちに人間臭さあふれる旦過市場が継承されていく。



I mercati sono una caratteristica delle città giapponesi, quasi sempre organizzati secondo una distribuzione lineare di piccoli spazi di vendita. Il progetto di ristrutturazione del Tanga Market a Kitakyushu, propone una rivoluzione tipologica e formale, trasformando la distribuzione in un labirinto in cui si alternano passaggi, spazi di vendita e spazi di sosta con scorci verso il canale. Quello che era una sequenza di retri trasandati e brutti, diventa un prospetto urbano di grande ricchezza e naturalezza di forme.

Markets are a characteristic feature of Japanese cities, almost always organised according to a linear distribution of small retail spaces. The renovation project of the Tanga Market in Kitakyushu proposes a typological and formal revolution, transforming the distribution into a labyrinth in which passages, sales spaces and rest areas alternate with glimpses towards the canal. What was once a sequence of unkempt and ugly retros becomes an urban prospect of great richness and naturalness of form.

市場は、日本の都市の特徴であり、ほとんどの場合、小さな小売スペースが直線的に配置されている。北九州の丹賀市場の改修プロジェクトは、このような市場を、通路、販売スペース、休憩スペースが運河に向かって交互に現れる迷路のように変える、類型的かつ形式的な革命を提案しています。かつては、手入れが行き届かず、醜いレトロの連続であったものが、豊かで自然な形をした都市のファサードとなる。

審査員　Arch. Antonio Esposito

優秀賞　JIA出展作品

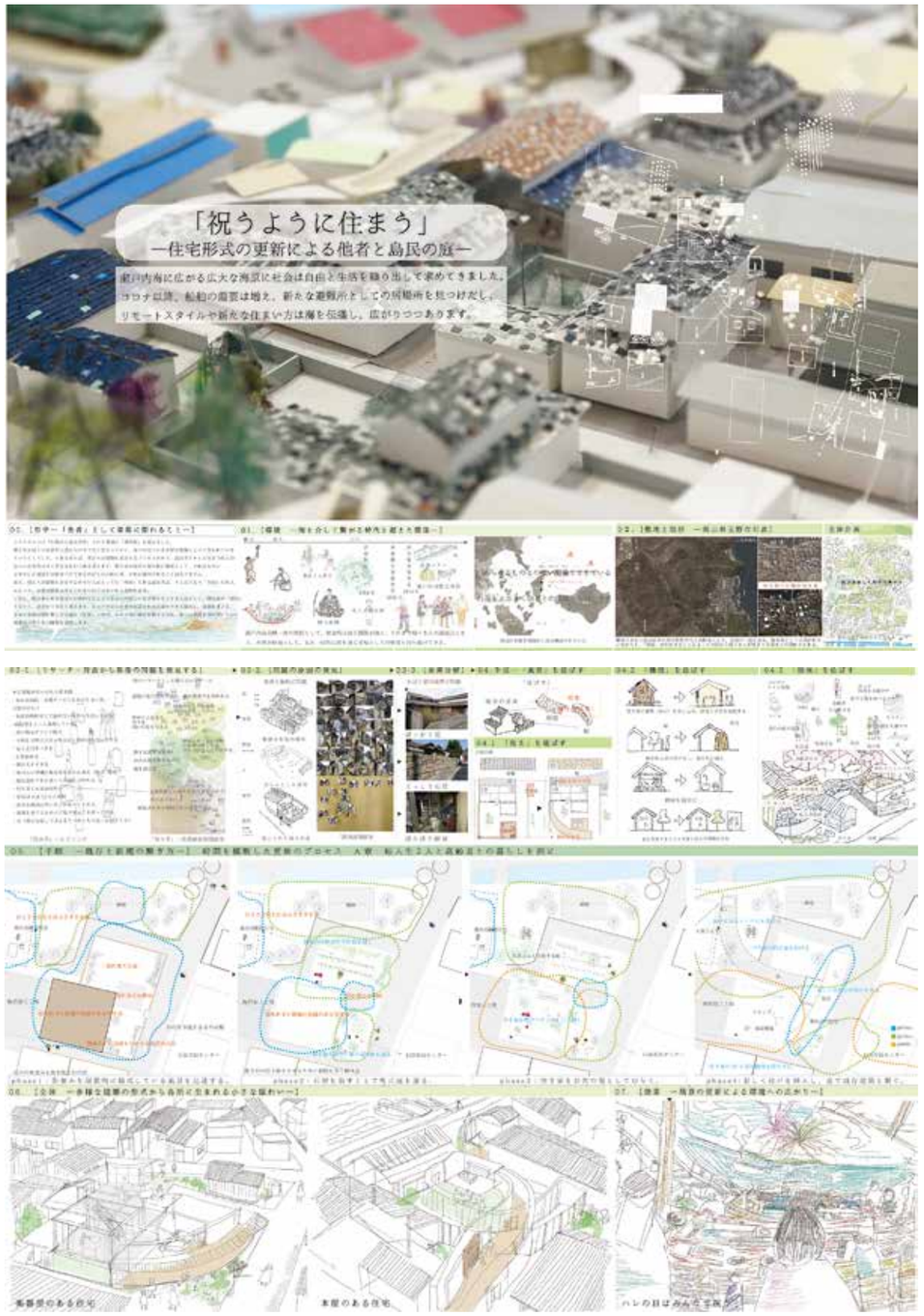
# 祝うように住まう

住宅形式の更新による他者と島民の庭

**香西 智貴** こうざい ともき　　東京理科大学 / 理工学部 / 建築学科

香川県と岡山県との県境が存在する日本唯一の有人島イシマ。ここには、島と本土の海を越えた瀬戸内特有の交流がある。
ここに民泊型の集合住宅を設計し、他島や本土との関係、それらを祝う建築とその形態を提案する。





審査員　河内 一泰

海や観光客など、他者との関係が強い瀬戸内海にある小さな島の過疎の村を民泊型の集合住宅へ変換するプロジェクトである。現代の街は私と私や私と公など、空間を分割することによって計画されている。作者はユクスキュルの環世界の重なりあう空間をヒントに「延景」という手法によって現代の分割による計画をほぐそうとしている。島と島外の関係を家と家、家と道の関係に引用しており、敷地が建築の計画とフラクタル（自己相似性）構造になっている点も案を強くしている。ストーリーの設定と目指す空間性にはとても共感したが、ユクスキュルの環世界は生物ごとの環の重なりを俯瞰的に理解する考え方であり、案のプレゼンテーションも俯瞰的であったので、個人的に興味のある「重なりの空間は体験できるのか？」という問題については分からなかったのは心残りである。

優秀賞　JSCA賞　JIA出展作品

# Case-α「生々流転」

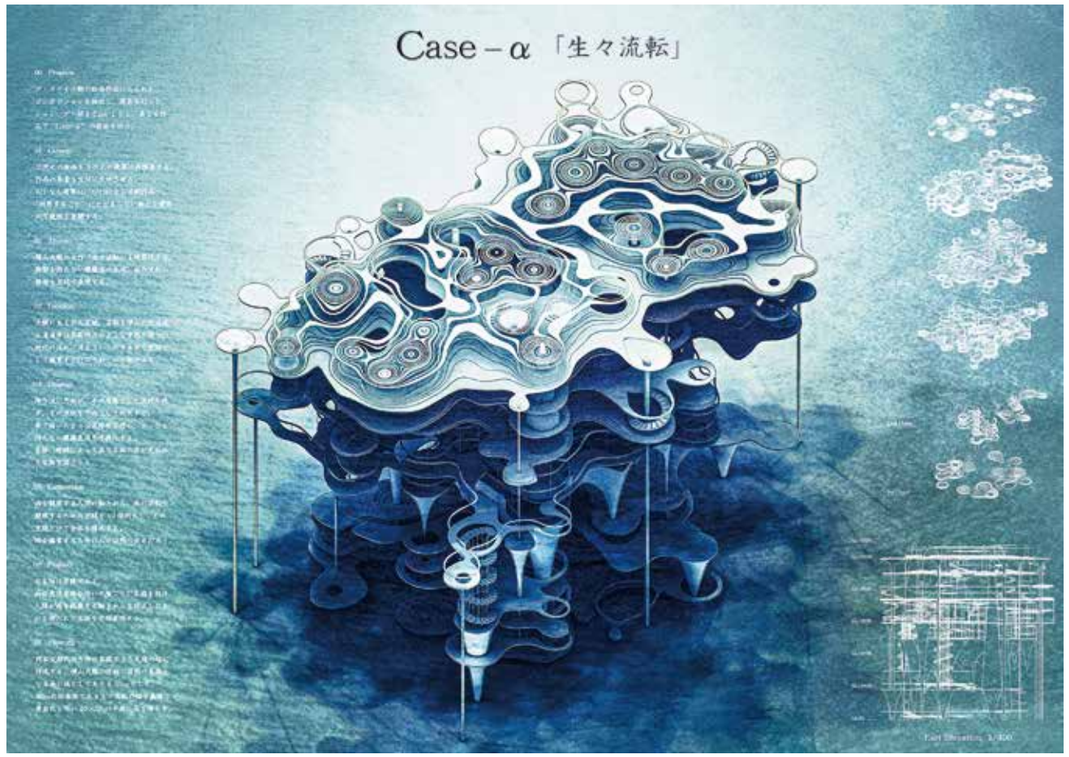
**大槻 瑞巴** おおつき みずは　　日本大学 / 生産工学部 / 建築工学科

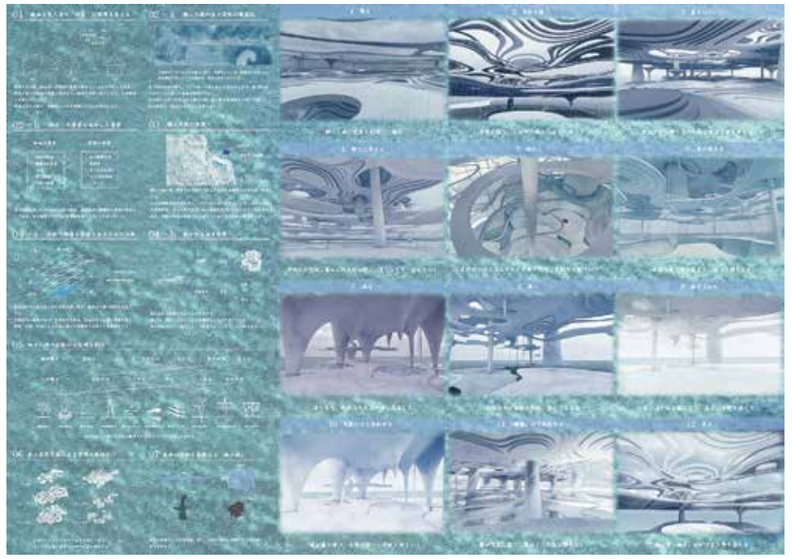
地元である茨城県水戸市出身の横山大観の作品「生々流転」を建築化し、絵画の立体鑑賞を行う空間を計画した。この作品は、雨が降り、川を流れ、海へ集まり、天に昇る、といった雨の畢生を描いた絵巻物である。彼が日本画を学んだ茨城県北茨城市の五浦には、岡倉天心という師と日本画の研究を行う日本美術院研究所が存在した。五浦の海上と建築空間で多様な姿に生まれ変わる“雨の流転”を完結させ、生々流転を空間体験として鑑賞する。

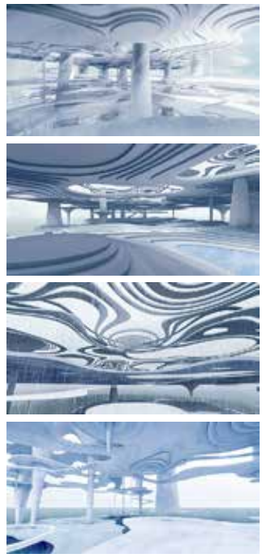
近年の建築メタバース、フュギィア化などの動きは、建築に“建てて利用する”以上の価値を与えた。この建築は絵画と建築の新たな価値を生み出すプロトタイプだと考える。









審査員　向後 勝弘

2次元の絵画を3次元の建築に再構築するという発想で、横山大観の「生々流転」を取り上げ、1滴の雨が集まって川となり、さらに大河となって海に注ぎ、最後は飛龍となって天に昇るという水の一生を建築で表現している。作品は絵画の物語を重視し、雨の集まる広い吹抜のある空間があったり、柱と思われた円柱が水の流れを表現し、最後は水滴となって細くなったり消滅している。アートとテクノロジーの要素を合わせ持つ建築において、テクノロジーを無視してアートの要素をより多く取り入れた大胆なデザインとなっている。そのため現在の建築技術では建築として成立しない可能性があり、建築作品といえるかとの批判もあったが、構造設計に携わる小生としては構造家への挑戦、いずれは実現可能になるという未来へ夢に託し、JSCA千葉賞に推薦した作品です。

特別賞

# 柔軟な建築

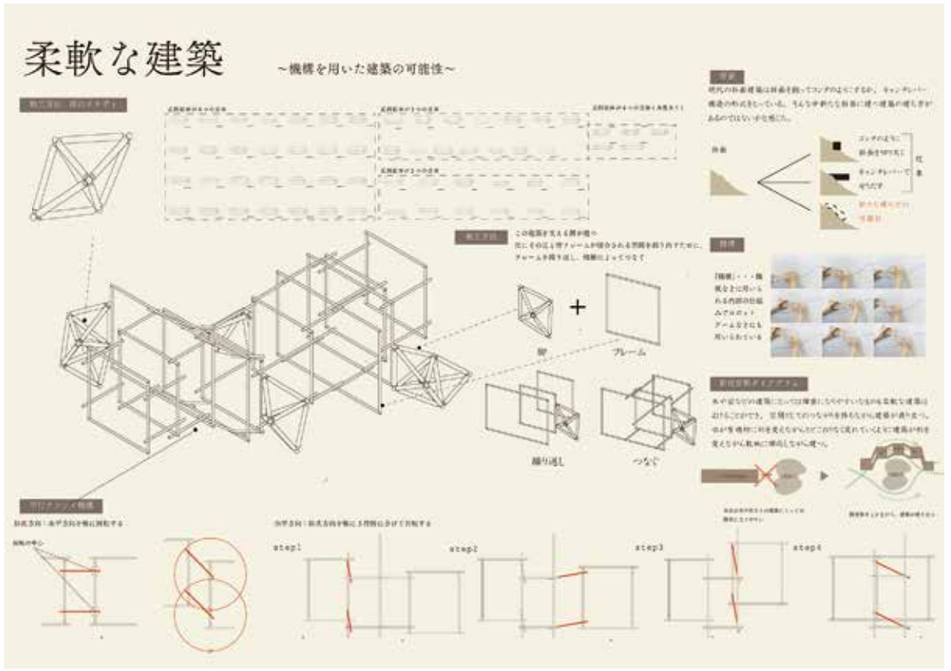
## 機構を用いた建築の可能性

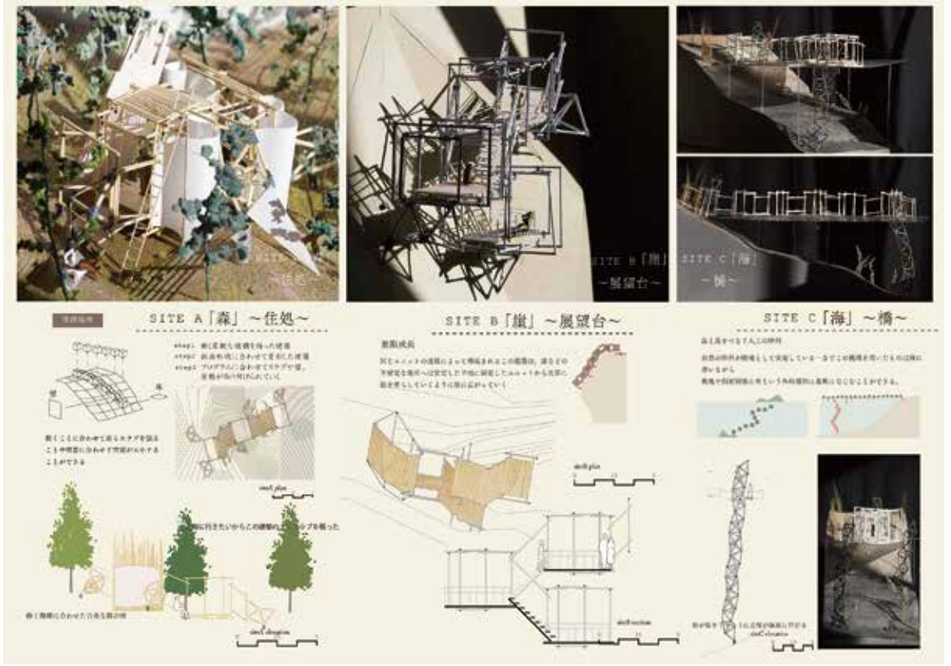
**酒井 裕太** さかい ゆうた　　東京理科大学 / 理工学部 / 建築学科

私はまず、敷地への応答の仕方を考えた。

建築に機構を取り入れることによって、斜面地などの建築の建ちにくい場所においても敷地に応答するように形を変えながら馴染むことのできる建築を提案する。また機構をを維持したままプログラム、時間や空間の需要に合わせて柔軟に対応していく。今回は、「森」、「崖」、「海」という敷地においてそれぞれ「住みか」、「展望台」、「橋」というプログラムを当てはめた。建築の多くは、敷地を切り崩すすことや盛土することで敷地を平坦にして建築を立てるが、この建築は、そういった操作は必要なく建築自体が水平を作り出し、応えていく。





審査員　佐々木 達郎

この柔軟な建築という作品は、自然が生み出す複雑でありながら美しい造形を持った大地に、抵抗することなく建築を設置しながら空間を獲得していく方法を提示したものである。正四面体の立体を組み合わせた脚を複雑な地形に設置し、パーツによりつくられた可動する機構を持ったメインフレームが地形のかたちに寄り添いながら柔軟に変形する事で空間をつくっていく。このような建築のつくられかたは、森林を伐採し、大地を削り、擁壁を建て、平らな土地をつくるといった環境破壊を繰り返す現代の建築のつくられかたに対するアンチテーゼでもある。森（木々の隙間）や崖（急な斜面）、海（揺らぐ水面）といった、不安定で複雑な自然をありのまま敷地と捉える無垢な視点を持ちながら、建築のフィールドを無限に拡張していく意欲的な作品であった。

特別賞　市民賞

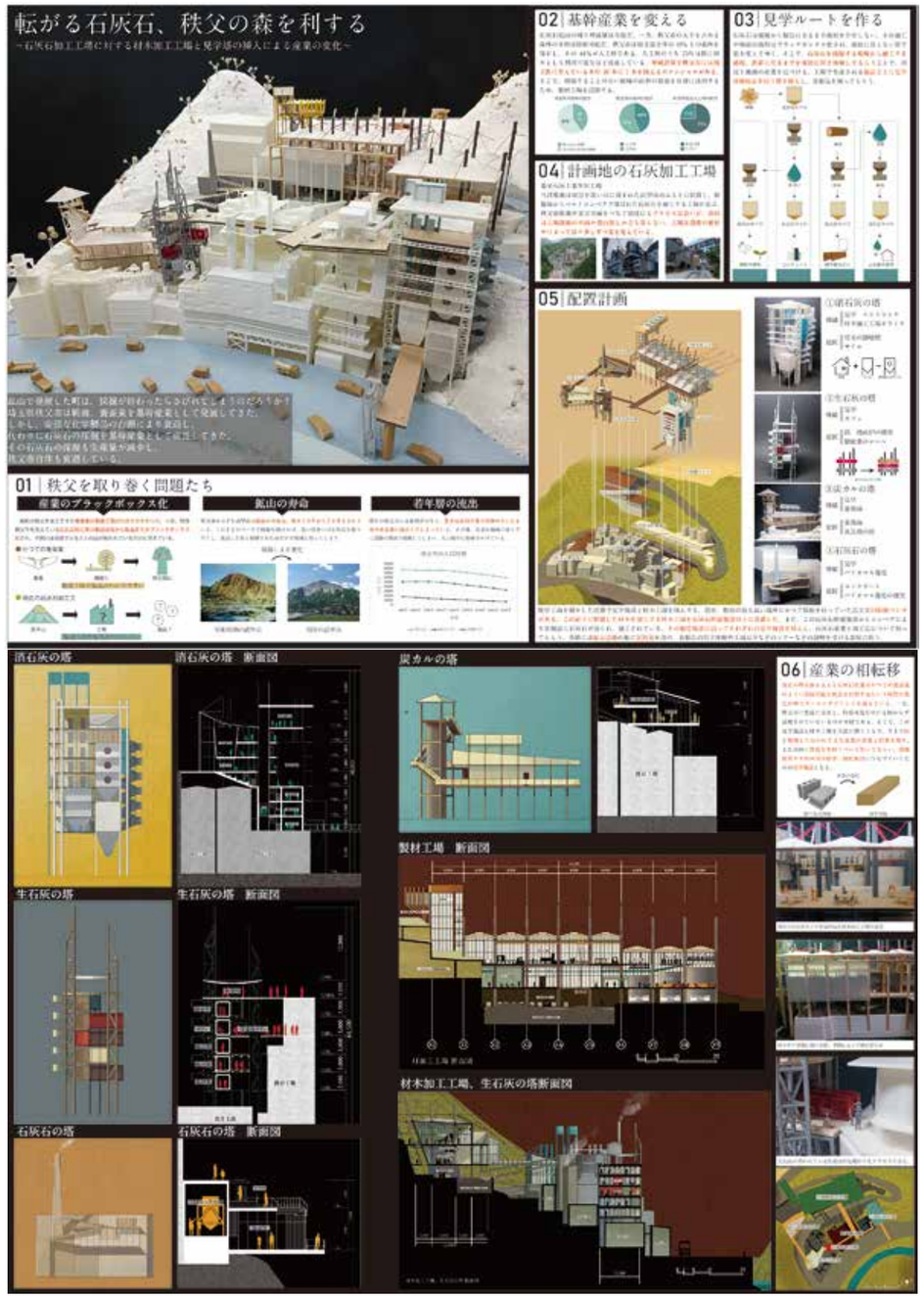
# 転がる石灰岩、秩父の森を利する

石灰石加工工場に対する材木加工工場と見学塔の挿入による産業の変化

**川内 俊太朗** かわうち しゅんたろう　　日本大学 / 理工学部 / 海洋建築工学科

鉱山で発展した町は、採掘が終わったらさびれてしまうのだろうか？埼玉県秩父市は基幹産業である石灰石の生産量が減少し、衰退している。そこで、既存の石灰石加工工場の機能を維持しながらブラックボックス化された石灰石産業を開くための見学施設と地域に豊富な木材を加工する材木加工工場を挿入する。これにより、今まで山を破壊して行われてきた産業の恩恵と結果を知り、また市内に豊富な木材について知ってもらい、環境教育や持続可能な資源である木材の活用紹介、地産地消につなげていくための見学施設となる。見学施設は製品ごとのプラントに沿って4つ建てられ、生産される製品などをモチーフにした意匠を施すことでわかりやすくする。





審査員　佐々木 達郎

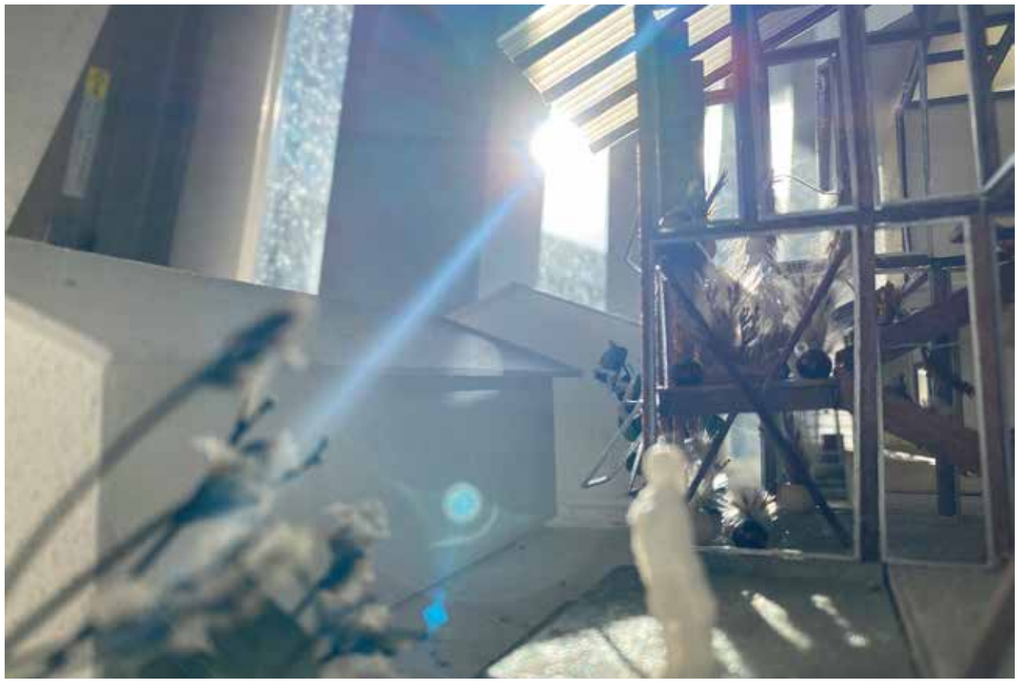
この作品は、衰退する秩父市の地域産業である石灰石の加工がどのように工場で行われ、製品にいたるかというプロセスの可視化を通して、これからの持続可能な地域産業のあり方を提示している。作者は、木材加工工場、さらに現在の石灰石工場の見学塔といった新たなプログラムを挿入することにより、住民の産業への理解を促し、持続可能な地域産業を実現しようと試みている。既存の工場の上に新たな建築をオーバーレイし、機能を上書きしていくといった方法は、産業を地層のように積層させていくダイナミズムがユニークな断面をつくり立体的で複雑な空間の面白さが生まれている。また、古いものと新しいものの重なりに生まれる空間体験は、そこに息づく産業がつくりだす魅力的な空間である事が容易に想像できる。

なの花会賞

# 終のすみか

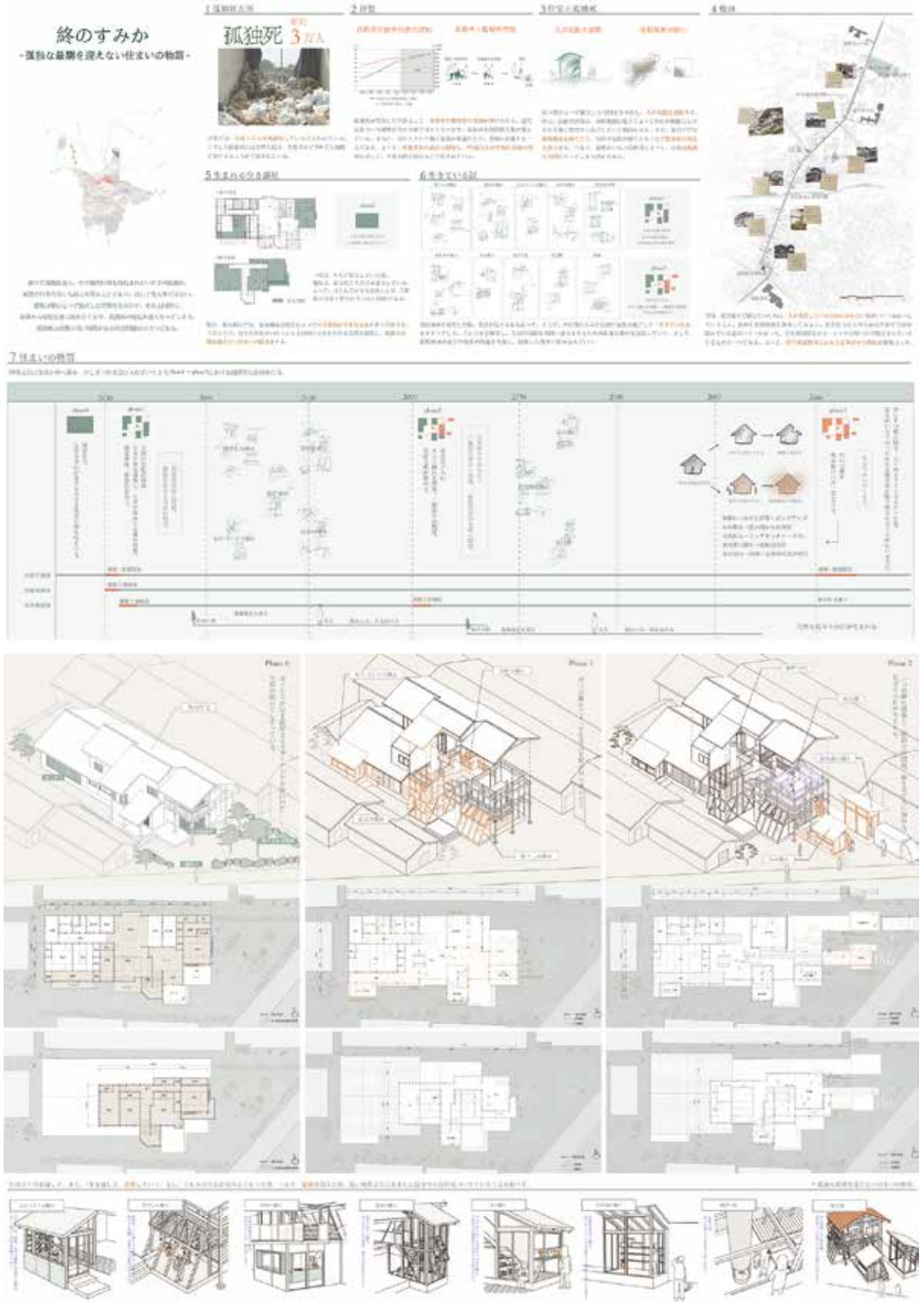
孤独な最期を迎えない住まいの物語

**岩間 小春** いわま こはる　　千葉工業大学 / 創造工学部 / 建築学科



ひとりで最期を迎え、その後何日も発見されないままの孤独死。家族や自分にも起こり得ることで決して他人事ではない。単独世帯の増加に加え、地方都市における著しい少子高齢化が孤独死を増加させる。当時、通学途中で感じていたのは、人が住んでいる、つまり、人が生きているのかわからない家がいくつかあったということ。岩手県遠野市にある実家もその一つである。一時は8人で暮らしていた家。現在は、祖父母2人だけが暮らしているため、ほとんどが空き部屋となり、生活が隠れていた。本設計では、この実家を敷地とし、時間と共に生活が外へ滲み、少しずつ街を受け入れゆくようphase.1～phase3における段階的な計画を行った。もし、生活が見えなくなった時、つまり、最期を迎えた時、時間と共に生まれた見守りの目が気づく。孤独な最期を迎えない住まいの提案である。





審査員　蒲生 良隆

こらから益々増えていく孤独死問題への提案となっている。自分の実家に住むことにより祖父母と同居して住まいを地域に開放し最後には地域での運営拠点にしていくという、財産を地域に解放していくおおらかな考え方に驚かされた。昔、冠婚葬祭が自宅で行う時代では孤独死はなかった、地域でのコミュニティーがしっかり構築され近所との代代に渡る絆があった。現在は過疎化していく中で繋がりも気薄になっていく状況を自分の家を核として誰もが立ち寄りたくなる雰囲気を作り、住い手と近隣子供たち、大人の昔ながらの近所付き合いや井戸端会議ができる場所を提供することにより住まい手が寂しくなくなる、建築を通じて誰かが毎日自分の動きを気に掛けてくれる。孤独死を防ぐ一つの提案として興味深く、時代に合わせて変化していく木造建築は有機体のように思えとても素晴らしい作品となっている。

奨励賞

# 入れ子とギャンブレル

生業の空間資源である堆肥場と旧牛舎を活かした村おこし

**山下 能瑠** やました あたる　　**千葉大学 / 工学部 / 総合工学科建築学コース**

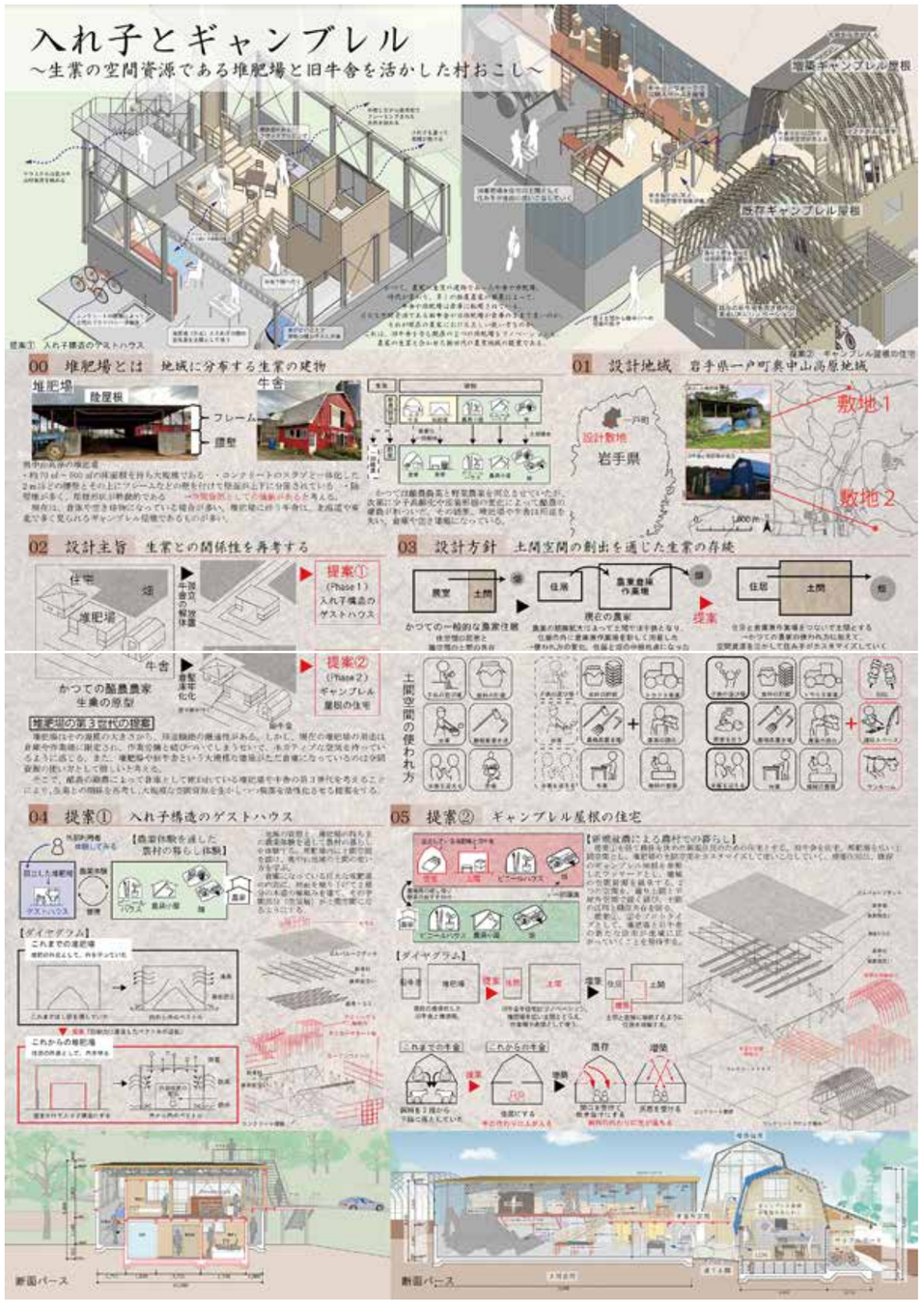
かつて、農家の生業の建物であった牛舎や堆肥場。時代が変わり、多くの酪農農家の離農や産業形態の変化によって、牛舎や堆肥場は倉庫に転用されたり空き建築になっている。

巨大な空間資源である旧牛舎や旧堆肥場が倉庫のままで良いのか。それが現在の農家における正しい使い方なのか。

これは、旧牛舎を含む既存の2つの堆肥場をリノベーションし、農家の生業と合わせた新世代の農業地域の提案である。

本提案をプロトタイプとし、旧牛舎や堆肥場の活用が地域に広がっていき、新たな資源となることを期待する。





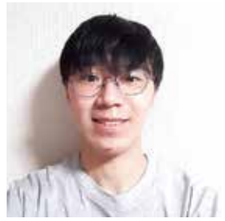
審査員　田邊 曜

岩手県の農業地域に残っている旧牛舎や旧堆肥場を空間資源として再生する計画である。まず、堆肥場を改修した入れ子構造のゲストハウスで外部利用者が農業を体験し、その後、堆肥場を改修した土間空間のあるギャンブレル屋根の住居に新規住民が移住するという段階的なプロトタイプを提案している。この提案では、今後、様々な地方が直面する問題をテーマとしていて、単に使われなくなった堆肥場と牛舎を改修した村おこしだけではなく、かつての自然と生活が一体となった特徴的な屋根が点在する美しい農村風景の再生とも考えられるのではないだろうか。時間軸がある二段階のプロトタイプを提案することでリアリティを持った案になっているのだが、将来的にこのプロトタイプから発展し、人々がそこで生き生きと暮らしていく様が見えてくると、更なるスケールの拡がりを持った提案となるだろう。

奨励賞

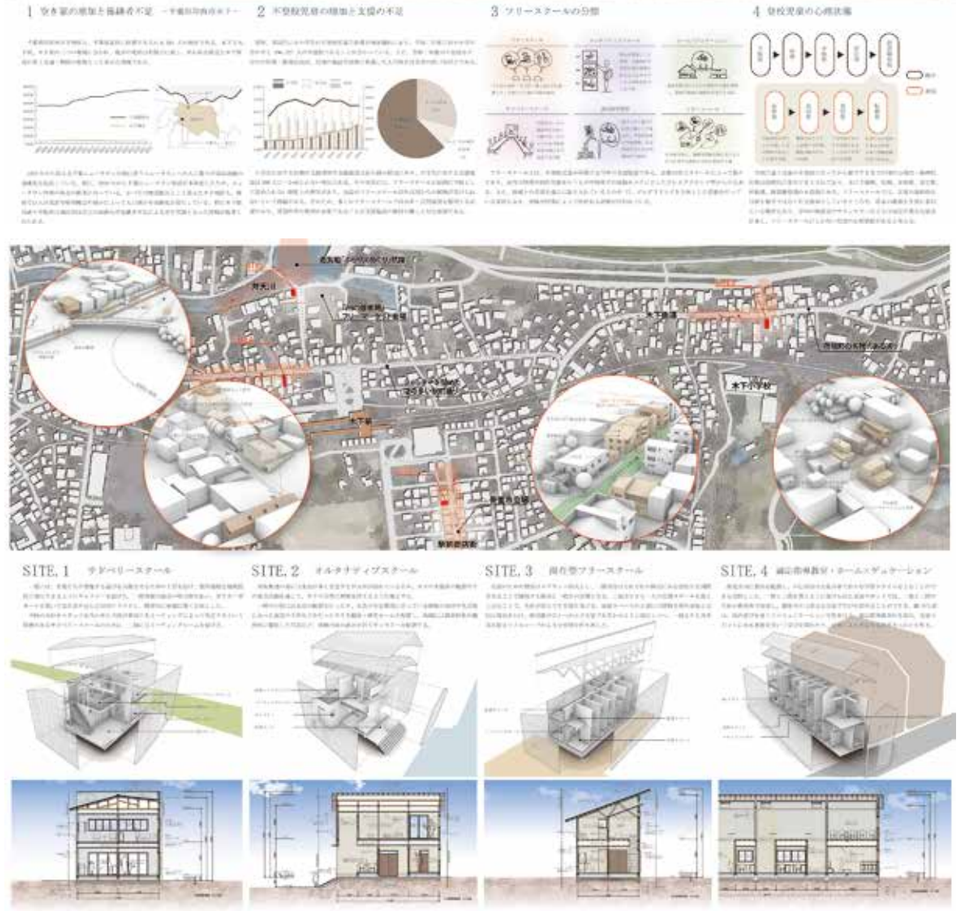
# 千葉県印西市木下地区におけるフリースクールの提案

空き家活用による地域再生を目指して



**川﨑 玲雄** かわさき れお　　千葉工業大学 / 創造工学部 / 建築学科

千葉県印西市では、ニュータウン建設が郊外の空き家の増加や若年層の流出を助長しており、特に、物流拠点として栄えた印西市木下地区は、後継者不足から閉業する店舗が続出している。その結果、大通り沿いに空き家が集中し、地域安全性の観点からも空き家の活用が求められている。そこで、社会問題化している不登校児童の増加に着目し、不登校児童のセーフティネットとなるフリースクールを提案する。空き家をフリースクールとして改修し、木下の空き家活用を促すだけでなく、フリースクールから地域へのつながりをつくり、木下の関係人口の増加を図る。また、フリースクールの学習内容や心理的ケアの違いから、複数のタイプのスクールを設置し、地域全体で幅広い学習を行うことができる不登校児童のための学習拠点を提案する。



審査員　蒲生 良隆

どこにでも増えている空家を地域再生としてフリースクールに活用する提案である。

印西市の旧市街を面白い視点にて計画されている、不登校児童をどうして学校や社会に引き込んで戻していけるかは地域による手助けがとても大事であり、子供自身の何かに興味を持ち打ち込めるような環境を提供することが重要であることを改めて感じる。これには児童の心の成長に合わせて多様な形のスクールが適度に機能していくことが想像でき、設計意図に共感を覚える。各住戸は耐震診断を行い補強行なっている計画で内部の間仕切りと設えもよく検討されている。この各施設をコントロールするような中央機能のある建物を加えてみると地域住民ともさらに交流できる施設となるように思う。これからも社会背景を考えた設計で活躍することを期待しています。

奨励賞

# 常ノ伽藍

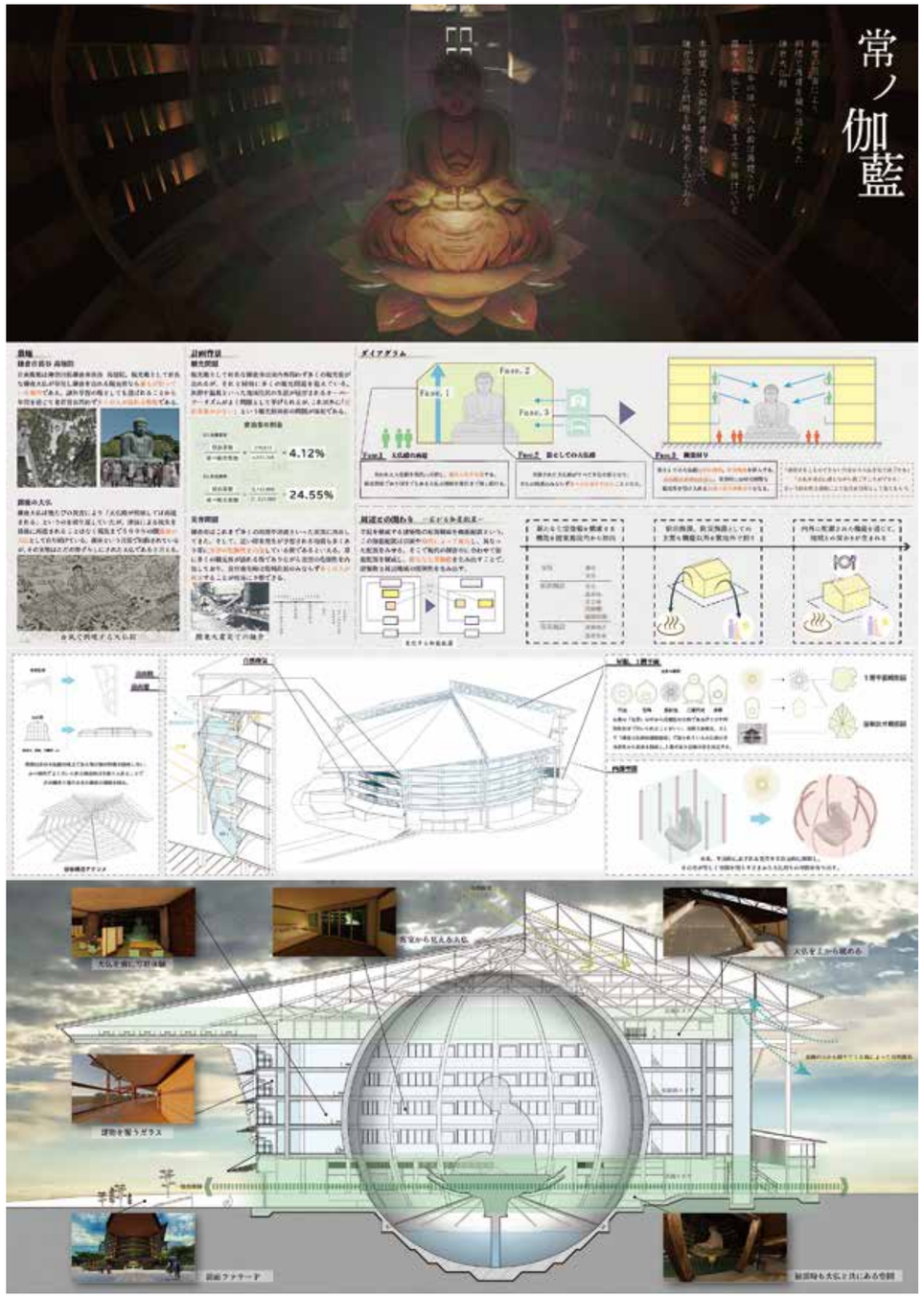
**尾沢 圭太** おざわ けいた　　日本大学 / 理工学部 / 海洋建築工学科

幾度の災害により倒壊と再建を繰り返してきた鎌倉大仏殿。1498年以降、大仏殿は再建されず露座の大仏として現在まで在り続けている。本提案は「大仏殿の再建」を軸として、鎌倉の抱える問題を解決に導くものである。

Problem. 1 - 観光地として有名な鎌倉市。年間を通して多くの観光客が訪れるがそのほとんどが日帰り観光客である。そのため、宿泊客が極めて少ない鎌倉市は、他の観光地に比べて観光客の数に見合った観光消費額が得られていない。

Problem. 2 - 鎌倉市は常に地震や津波といった災害の危険性を内包している街である。観光客が多く訪れる時期と災害が重なったときの人的被害は想像を絶するだろう。





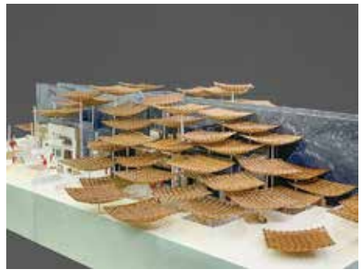
審査員　河原 泰

現在、露座となっている鎌倉の大仏を覆う大仏殿をつくろうという意欲的な計画である。単に大仏を守るための上屋というだけではなく、観光地鎌倉の宿泊問題を解決するため、宿泊施設も併設している。宿泊客は大仏を眺めながら眠るという貴重な体験をすることになる。発想としては面白いが、国宝である鎌倉大仏に上屋を架けるには、意匠的に相応の説得力が必要となる。その点において球体のRC躯体の上に光背から着想を得たという飛散的な屋根を架けるという形態は、そのつながりが唐突に感じられ、外観としても審査員をうならせるまでには至らなかった。

奨励賞

# なつかしくて優しい町を留める方法

**石田 開** いしだ かい　　千葉大学 / 工学部 / 総合工学科建築学コース

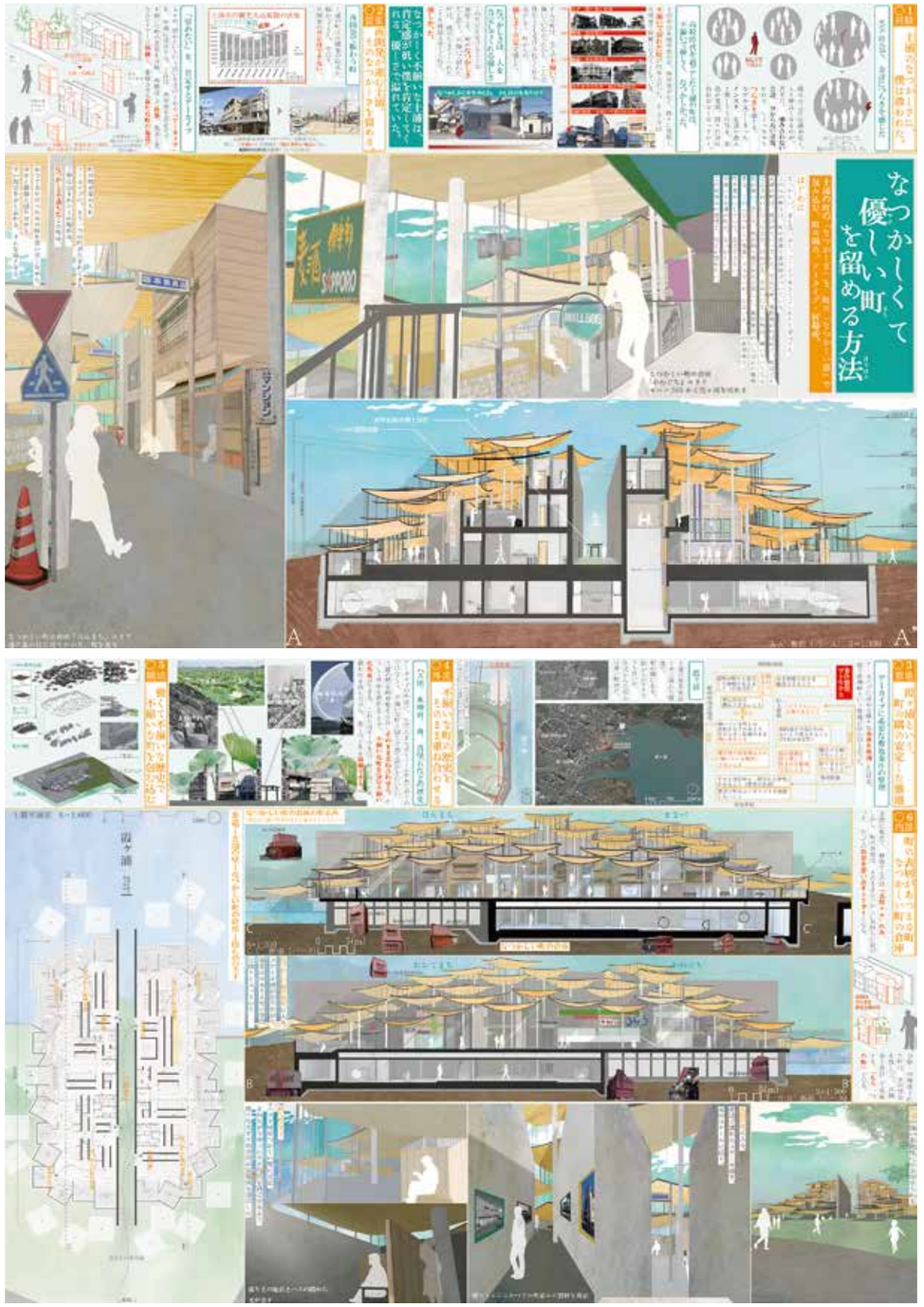


僕は精一杯生きてきたつもりだが、突然不安になる。友人の輪に入れず、流行は分からず、SNSは使いこなせない。僕はこの現実に生きていて、いいのだろうか？

なつかしむことは、過去を肯定すること。なつかしい土浦の町は、これまでの人生を、肯定させてくれる優しい町だった。そんな町は今、再開発で賑わいつつある。綺麗になる町を、どこか寂しく見ていた。そんな町に恩返しをしたい。

開発を邪魔せず、なつかしい町をどこかに留めたい。町の表層を移築し、再構成しながら収集する「アーカイブ」を設計する。外皮は町の歴史を不揃いに重ねて構成。不揃いな内部と外皮が呼応し合い、なつかしい非現実を作り出す。





審査員　河内 一泰

ハスの葉の連なりをイメージするような屋根が霞ヶ浦にまたがっている建ち方に魅力を感じた。建築は本来的にはシェルターであり、閉じる事によって雨風を凌ぎ構造的に成立するものである。外の風景や光を求めて開きたいという要望とシェルターとして閉じなければならない必要の両面から屋根の形を考えるべきである。小さな部分の集合によってできた屋根は隙間から光を取り込みながら雨風に対応しているように見えるが、構造的なアイデアが弱いと感じた。フラットスラブの集合とすれば屋根同士が角で接するなど、開きながら閉じる形を発明する必要がある。大屋根、RC壁、古い町の3つの要素が全て新規のもので完結し、テーマパークのように現実世界と接続していない「思い出のような建築」になっている。既存の町と霞ヶ浦をまたいで柔らかい屋根を覆うだけでも良かったのではないかと思う。

奨励賞

# お寺で子どもを育む屋舎

柴又帝釈天における小学校の提案

**山田 楓子** やまだ ふうこ　　千葉大学 / 工学部 / 総合工学科都市環境システムコース

地域に愛される寺院の境内に小学校を計画する。

対象地とする葛飾区柴又の題経寺は「柴又帝釈天」の愛称で親しまれ、地域の信仰・観光の中心の役割を担う。境内は江戸時代から現代までの増築によって歴史的意匠から近代・現代の意匠までが混ざり合う建築的にも独特な場だ。

クラス同士の境界、教室と廊下、地域と学校を曖昧にし、のびのびと過ごせる自由自在な空間と豊かな地域資源によって子どもたちは育まれる。

昭和のぬくもりの残る柴又で寺院境内の意匠を継承した本計画は、小学校のセキュリティと地域への開放という矛盾した要求に応える。

本計画は柴又の「故郷らしさ」を具体化し、帝釈天や参道とともに新たに景観の一部となるだろう。

審査員　田邊 曜

この地域に愛される寺院である柴又帝釈天境内での小学校の新築計画である。寺院の時代ごとに増築を繰り返した独特の景観から軒や高床といった要素を抽出し、バタバタと動きのある勾配屋根で構成した分棟の教室が様々な軒下空間をつくり出している。四分割された教室ユニットはそれぞれの間仕切りが開閉することで寺子屋のようにアクティブラーニングの場となる可能性を感じる。素足で歩ける高床の軒下空間も可動間仕切りで様々な使い方のできる教室ユニットも魅力的なのだが、小学校のセキュリティ面を考慮したからか、外部に対して少し閉じていて、それぞれの空間が完結してしまっている印象があった。それぞれの空間の連続性や、地域住民、寺院への来訪者が共に利用できる空間をさらに考えることで、教室と軒下空間、そして寺院境内、さらには柴又の地域へとつながる学びの場となるのではないだろうか。

奨励賞

# まちの庭

君の居場所

**江頭 古都奈** えがしら ことな　　日本大学 / 短期大学部 / 建築・生活デザイン学科

現在、小中学生の不登校児童数や虐待数が年々増加している。また、他者と関わりが苦手、規範意識が十分に育っていない、運動能力の低下などが問題視されている。そういう状況に至った背景として、少子化・核家族化・人間関係の希薄化・地域コミュニティの低下などが挙げられると考えた。本提案では、子供達が他者と円滑なコミュニケーションを図り、地域社会で子育てをしていくことを目的し、計画を行なった。地域の子供から、親世代・高齢者までが、気軽に訪れ交流のできる場の提案をした。学校に行けない子も、悩みを抱えた親も、何かの役に立ちたいと思う高齢者も様々な人の第3の居場所として存在する。自然豊かな土地で、体を使って遊び、自然を感じながらゆっくりとした時間を過ごすことができる施設である。

審査員　磯野 智由

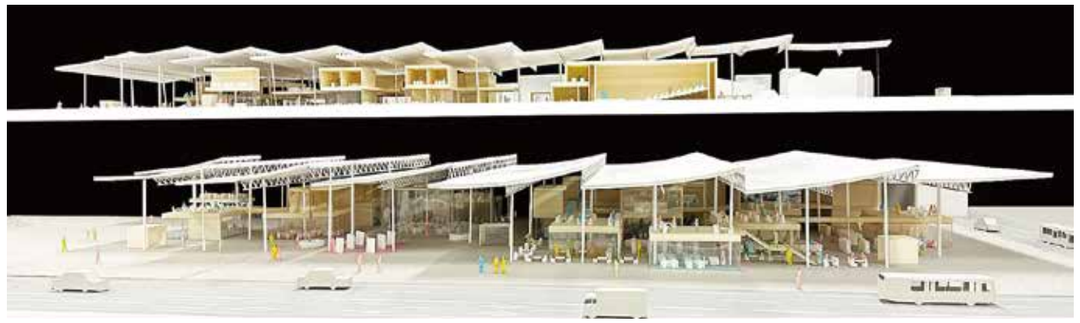
緑豊かな公園の中、曲線を利用したスロープを巡った先にこの居場所は存在する。いつの間にか誘われるように、気楽な散歩の延長線上に配置した、優しい建築に伺える。公園と建物の構成を同じとすることで、公園の好きな場所を見つけて座り込み、家族や友達との団欒を愉しむ延長として、このフロア、部屋も存在する。また、緩やかに繋がった用途のない外部空間と実際の部屋として利用したい空間を、ゆがんだスロープの半屋外部空間と、フラットでスクエアな内部空間に分けている配慮もよかった。しかし、欲を言えば、本当にスクエアな空間でよかったのか、また、その境界に立つ壁はガラス、壁かの二択でよかったのか？境界となる壁をもう一歩考えデザインをすることで、建物から発信する情報は何倍にも膨れ、表情豊かな外観にもできたかもしれない。一つのアイデアを整理し、まとめた後、再度、一つ一つの建築的要素の在り方がふさわしいかどうか、あと一歩踏み込めると、より、洗練されたコンセプチャルな提案になったと思います。

奨励賞

# 都市の骨核

## 大屋根が織りなす行政と市民のインターフェース

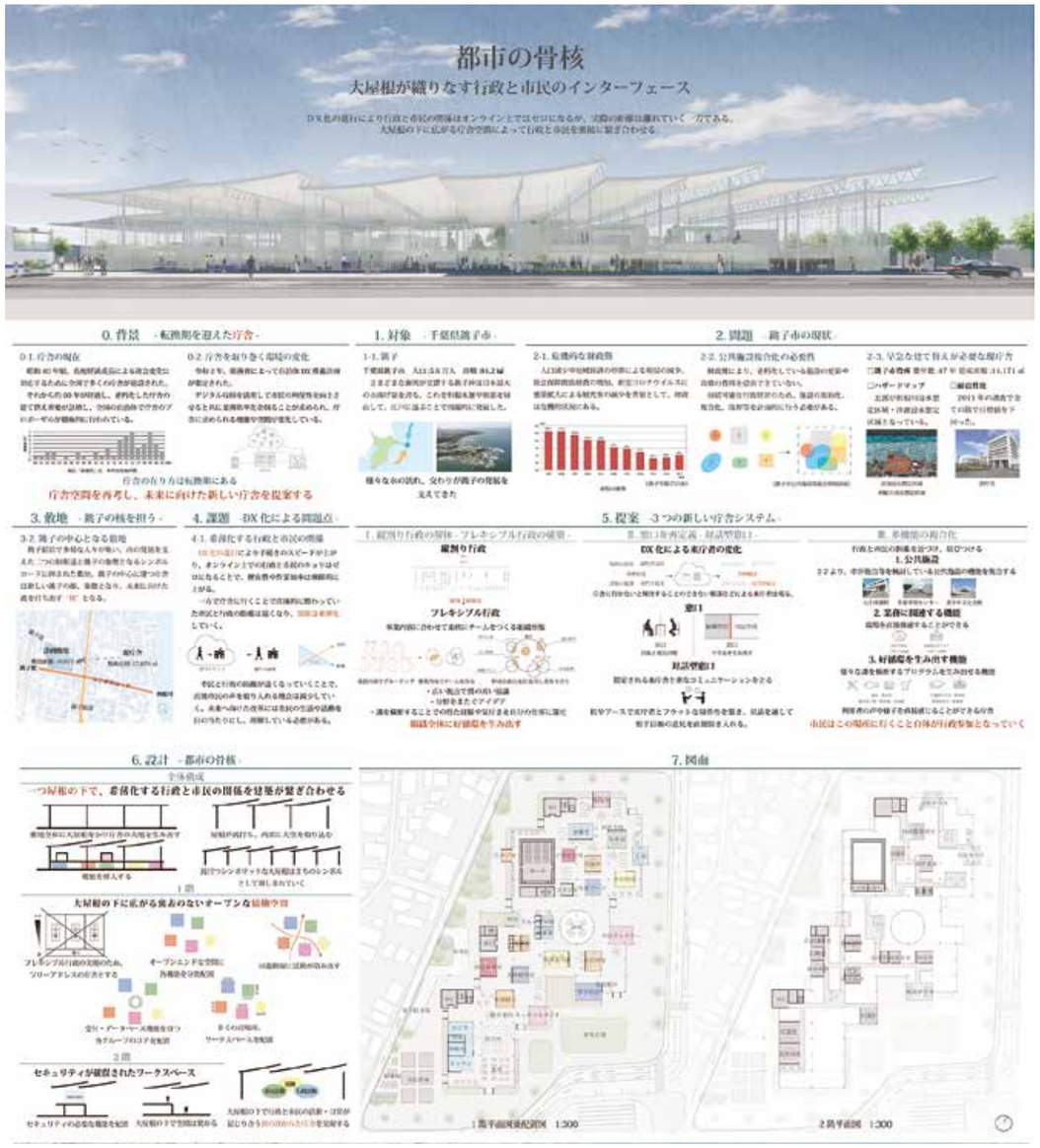
**太古 尚稀** たこ なおき　　東京電機大学 / 未来科学部 / 建築学科



高度経済成長により全国で多くの庁舎が建設されてから約60年が経過し、老朽化した庁舎の建て替え需要が急増している。また、令和2年、総務省によって自治体DX化推進計画が策定されたことなどから、庁舎の在り方は転換期を迎えている。DX化の進行により行政と市民の距離はオンライン上ではゼロになり業務の効率は飛躍的に上がるが、今まで直接的に関わってきた行政と市民の距離は離れていき、関係性は希薄化する一方である。

大屋根の下に行政活動と市民の活動・日常が広がる庁舎は都市における行政と市民のインターフェースとなり、両者を繋ぎ合わせ、銚子の明るい未来を生み出す核となる。





審査員　磯野 智由

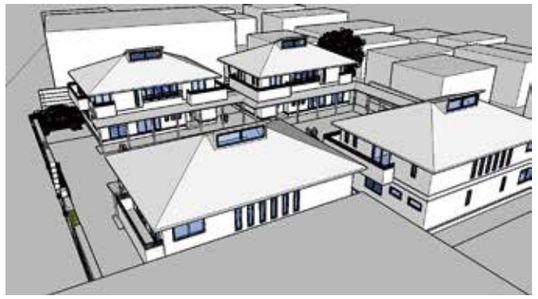
この案は地方駅の駅前の一等地に市役所を計画する案である。これからの市役所の在り方を考え、市役所に新たなプログラムが介入している。この作品はまず、調査をしっかりとし、現在抱える市政の課題を理解していることにだけでなく、今後導入が進み浮かび上がってくるだろう問題点も含め、その解決を空間で、建築でしようとチャレンジしていることを、評価したいと思いました。大きな屋根の中、様々な用途をばらまき再構築する。セキュリティーと新たな市政と、市民との交流、観光にも対応できる市場やホール、多くの利用が見込まれる図書スペース、実際に市政と市民がぶつかるような場が提案されていることが、新たな情報を交わしあえる場となると感じます。街自体は市民の市政への関心、係りが必要で、情報を受け取れる機会を多く創り出す事は、今後、市役所の解の一つになるかもしれません。着眼点は、非常に良かったと思います。あと一歩の結果として、それぞれの関係性を、もう少し丁寧にデザインすることで、新たな関係性のデザインが生まれると良かったのではないかと感じます。今後に期待したいです。

奨励賞

# つながるファミリー

## 児童養護施設の提案

**小谷 俊** こたに しゅん　　千葉職業能力開発短期大学校 / 住居環境科



私たちは、普通に生活をしていて気づいていないことがたくさんある。普通が普通にできない子ども達がたくさんいる現状。生活が困難で養護を必要としている、このような状況に気付いた私は、子どもたちのために何かできないかと考えた。多くの子どもたちが養護をされている児童養護施設に見学に行き、子どもたちには家庭的な環境での生活が求められていることがわかった。公にはされていない児童養護施設、情報もあまりないそのようなことでも生活をしている子どもたちが大勢いる。

そこで、施設を小規模にファミリーの作成、コミュニケーションがとりやすい動線計画、コミュニティ空間、向かいの家とのつながりができるようにする計画を行い現環境の改善をする。

南面開口部

中庭面の広間に大きな開口部を設けました。充分な採光に加えて、向かいの家の様子や気配を感じることができるようにしました。

吹き抜け

吹抜を設けることによって、解放感があります。ただ、それだけではなく上下階で声が聞こえたり視線が通りファミリー間で気配や存在を感じることができます。職員の方も死角が無くなり、子供たちの安全や存在に気付きやすくなっています。

内部開口部

内部開口部は引き戸を使用していきます。子どもには個室を与えプライバシーの確保は大切です。ですが、閉じられた部屋、オープンな部屋が良いのではなくて相互に気配を感じられることが大切だと思います。そこで、閉じることもできて開けっ放しで形骸にもならない引き戸を使用することにしました。

まとめ

児童養護施設を調べることで、今まで見えてこなかったことが見え、問題を抱えている人がたくさんいることがわかりました。現在は施設の建て替えなどがすすめられ小規模になってきました。そして、今回の計画では、ユニットごとにファミリーを作成し、コミュニケーションが生まれやすい動線計画にしました。ユニットだけでなく、大きな開口部を設けることで向かいの家の気配を感じることもでき、中庭では交流が生まれるようにしました。このことから、建築によって問題点の改善ができたのではないかと思います。

社会的養護の現状

保護者のいない児童、被虐待児など家庭的環境と養護を必要とする児童などに対し、公的な責任として、社会的に養護を行う。対象児童は、約4万2千人いるとされている。その中、約2万3千人近くの児童が児童養護施設で生活をしている。

児童養護施設の設置数、入所者数

児童養護施設の形態別

| | |
|---|---|
| 大舎制 | 1舎につき20人以上 |
| 中舎制 | 1舎につき13人から19人 |
| 小舎制 | 1舎につき12人まで |
| 小規模グループケア | 原則として定員6人 |
| グループホーム | 原則として定員6人 |

課題

・児童がの身ともに健やかに養育されるよう、より家庭に近い環境での養護の推進を図ることが必要。
・しかしながら、社会的養護を必要とする児童の約9割が施設の入所しているのが現状。
・このため、児童相談所が要保護児童の養育環境を決定する際の考え方を法律において明確化することが必要

将来像

大規模施設から家庭的な環境での暮らしができるように小規模化を推進している。

審査員　向後 勝弘

大きな社会問題となっている児童養護施設のあり方に対する提言を行っている、現実的な作品である。作者は養護を必要としている児童に対して、コミュニケーションと家庭に近い環境で暮らしができようにすることが必要であるというコンセプトに基づき建物を計画しており、随所にその考えが表現されている。家庭的な環境の一番に建物の小規模化をあげ、吹抜のあるリビングダイニングを中心に個室を配置するも、開口部に引き戸を採用してプライバシーの確保と同時に、相互に人の気配を感じられるという配慮も行っており、配置計画も中庭を中心に戸建てを配置し、大きな開口部によって向かいの家の様子や気配も感じられるなど、完成度の高い作品となっている。しかし心に傷を負った子供たちには様々な考えがあり、一面的な環境ではなくより深く掘り下げて斬新な発想を試みると、より深みのある作品になっていたと思う。

奨励賞

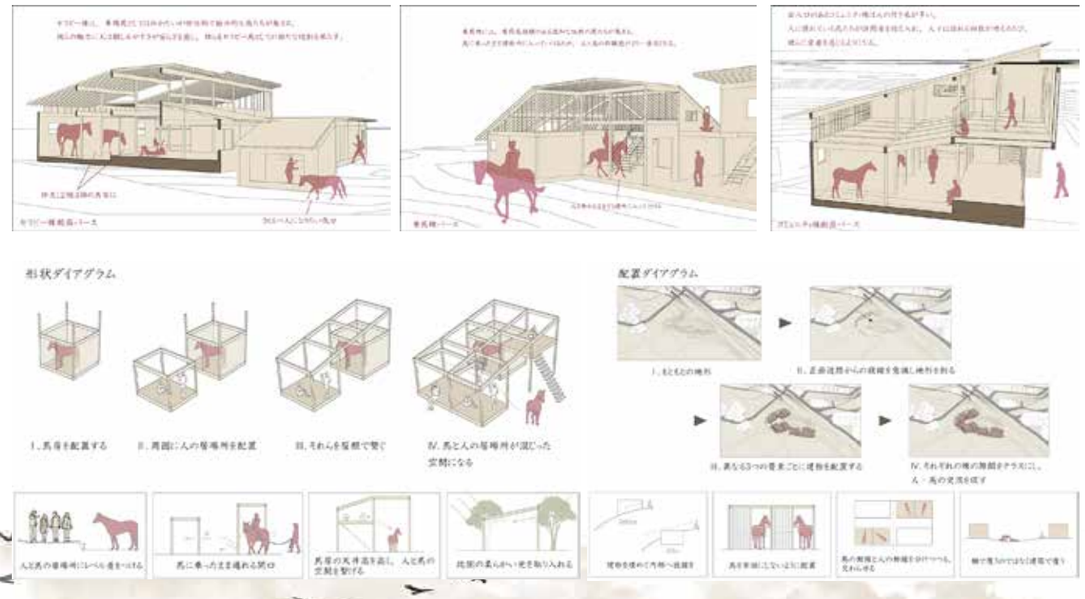
# ラストランのあとで

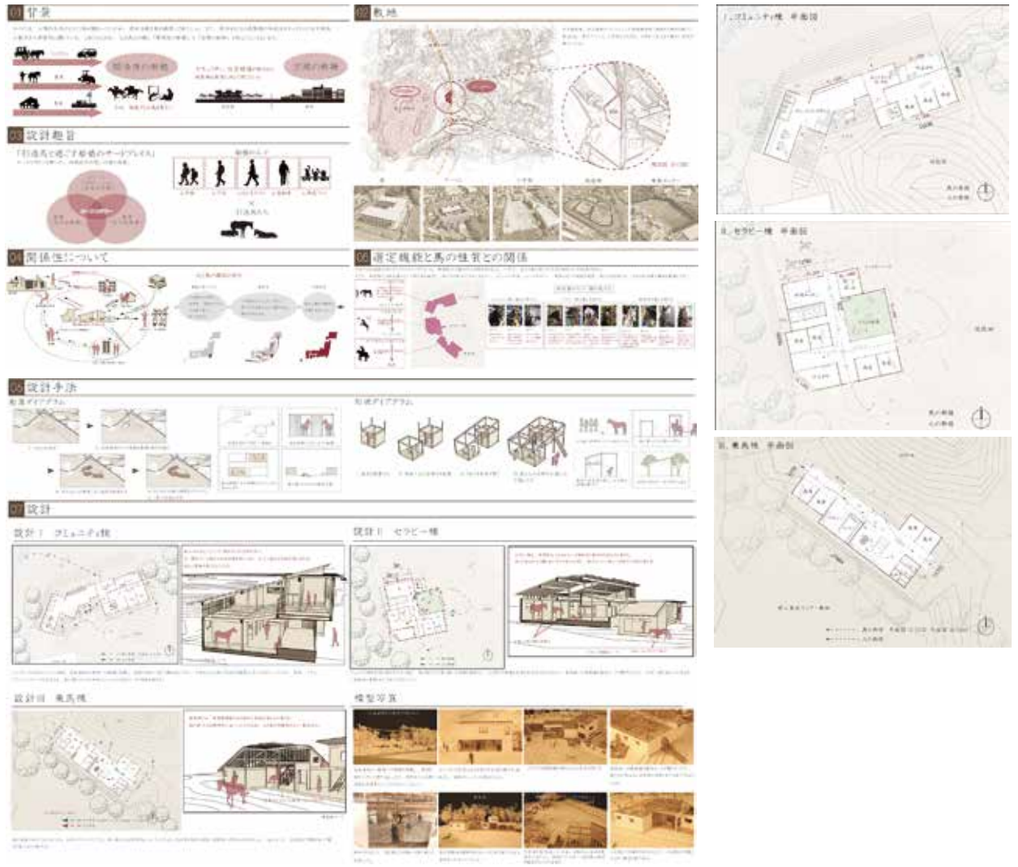
## 馬に親しむサードプレイス

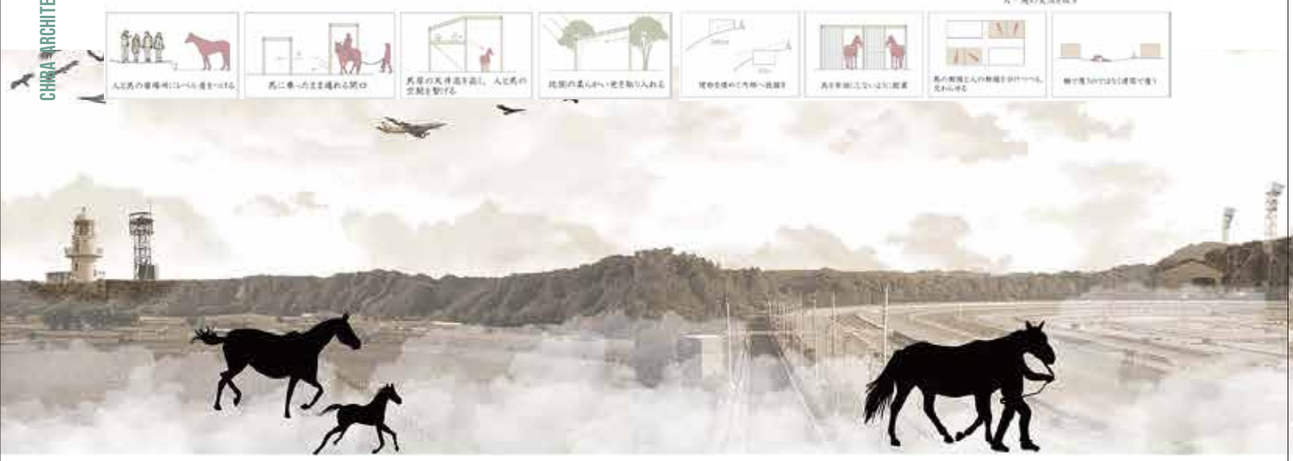
**椿 未来** つばき みく　　東京電機大学 / 未来科学部 / 建築学科

現在、競走馬を引退したサラブレッドの多くが、乗馬に転用されているとされているが、サードキャリア以降の統計は存在しておらず、多くの馬が若くして命を終えているといわれてる。しかし、走れなくなった馬には本当に生きる価値がないのだろうか。

本設計では、ホースセラピーを用いた地域住民のサードプレイスを提案し、人と引退馬のこれからを考える。





Il progetto parte da considerazioni etiche per definire un atteggiamento estetico. Il terzo luogo per la terza età di uomini e cavalli si apre come un teatro al passaggio dei treni. Gli edifici costituiscono la scena, l' area per la sgambatura è il palcoscenico. I passeggeri sono gli spettatori in movimento di uno spettacolo che improvvisamente si apre nel mezzo di una sequenza di spazi urbani incerti e trascurati.

The project starts from ethical considerations to define an aesthetic attitude. The third place for the third age of men and horses opens up like a theatre as the trains pass by. The buildings form the scene, the stepping area is the stage. The passengers are the moving spectators of a show that suddenly opens in the middle of a sequence of uncertain and neglected urban spaces.

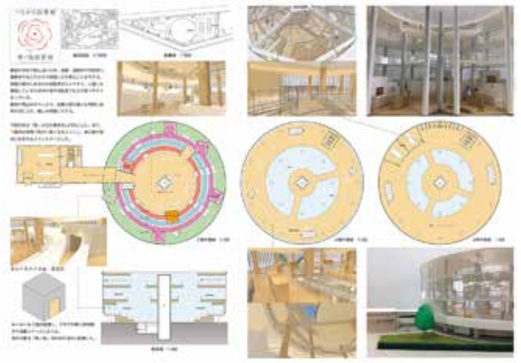
このプロジェクトは、倫理的な配慮から出発し、美的な態度を定義しています。人馬の第三の時代の第三の場所は、列車が通り過ぎるときに劇場のように開かれる。建物はシーンを形成し、ステップエリアは舞台となる。乗客は、不確かで放置された一連の都市空間の真ん中で突然開かれるショーの動く観客である。

審査員　Arch. Antonio Esposito

第35回千葉県建築学生賞

# 建築学生賞 高校生の部

High School Student Division



## NO. 1 椿ノ海図書館

**増島 莉夏** ますじま れいな　　千葉県立東総工業高等学校 / 建設科

近年電子書籍の普及が進んでおり、並行して図書館の利用者も減ってしまっている。
そこで、地域のイベントや人と触れ合える場所としても図書館を活用し、本に触れ合うことの楽しさを体感し知ってもらえる施設があると利用者も増えるのではないだろうか。
また近くに駅があるため、待ち時間などのちょっとした時間に手軽に場所を利用してもらうことでも本に触れ合うきっかけになれると良いと考える。
近隣に学校や団地もあるため、学習の場や調べ物、息抜きや友人との遊び場等で活用していけるだろう。
その先に本と触れ合う場所と機会を提供し、その楽しさを広められる様な図書館を作りたい。

## NO. 2 中庭で広がる人との絆

**中村 ダイスケ** なかむら だいすけ
千葉県立東総工業高等学校 / 建設科

最近では、コロナによる規制も緩和され、コロナ前のように交流が行うことができるようになってきた。
また以前のような交流ができるように、中庭を中心として人との触れ合いができる家をコンセプトにした。
中庭を家の中心に配置することで、別々の部屋にいても中庭を通して家族を感じられるようにした。
また、中庭以外にもリビングダイニングには吹き抜けを取り入れており、中庭からの光と吹き抜けの光が合わさって、明るくて広い家の雰囲気を作った。
他にも、縁側やウッドデッキを取り入れているため、家族間だけでなく友人らとの交流も活発に行うことができると考える。

## NO. 3 重なり繋がる家

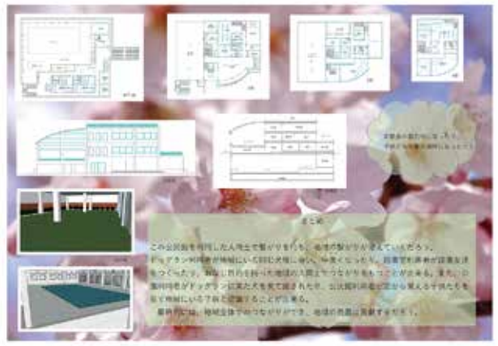
**藤ヶ﨑 遼** ふじがさき はるか
千葉県立東総工業高等学校 / 建設科

二世帯住宅には、主に共有型と分離型の二つあり、共有型は、家族の繋がりを感じることができるが、親世帯・子世帯の生活リズムが異なるため、互いの暮らしが干渉してしまうことがある。
分離型は、干渉することはないが、生活空間が分断されてしまうため繋がりを感じにくくなってしまうと考えた。
そこで二つの異なる生活空間を重ね、重なりできた空間を共有空間とし、互いの暮らしに干渉せず、程よい距離感を保てる家とした。

## NO. 4 Start Line ここから始まる関係

**川崎 未世** かわさき みよ
千葉県立市川工業高等学校 / 建築科

公民館の定義には、市町村その他一定区域内の住民のための施設とある。
大人から子供まで、高齢者や障がい者など「人」のためのみならず、近年家族と言われるペットも住民となるのではないかと考えこの公民館を提案する。
ドッグラン利用者が地域にいる同じ犬種に会い、仲良くなったり、図書室利用者が読書友達をつくったり、おなじ目的を持った地域の人同士でつながりをもつことが出来る。
同じ空間に居るだけで地域とのつながりを感じられる場所となり、この公民館を利用した人同士で繋がりを持ち、地域の繋がりが増えていくだろう。



## NO. 5 Local Residents House

多様な地域住民が交流し、支え合える空間

**駒ヶ峯 翔** こまがみね しょう
千葉県立市川工業高等学校 / 建築科

日本の都市では人と人との助け合いや地域交流をする機会が減ってしまったことで地域の人間関係の希薄化が問題になっている。
また、少子高齢化によって周りの人の助けを必要とする高齢者も増えている。
心にゆとりを持つことができれば周りに気を使えるようになり、少しの気遣いから助け合いが生まれてゆく。
日の光は心にゆとりを持たせ、前向きに物事を考えられるようにする。
この建物の広場は巨大なガラスの屋根に囲われており、そのガラスから降る日の光を浴びながら
地域の人たちがコミュニケーションを取れるようになっている。
そして心にゆとりを生み、コミュニケーションを取れる広場を中心として地域の人々を結びつけ人間関係を広げていくことで、人と人が助け合える地域社会に発展させていけるのではないだろうか。

第35回千葉県建築学生賞

# 審査経過

*中野　正也（なかの まさや）*　審査コーディネーター

第35回千葉県建築学生賞の審査は、これまでの会場から変更してきぼーるのアトリウムで公開かつ対面形式で実施された。

今年は全15作品の出展があり、パネルと模型の展示、プレゼンテーションは審査員とオーディエンスの前で行った。

例年と同じく公正な審査を行うべく所属の大学名など所属は伏せた上で、審査員及び出展学生による対話と討議を重視しできるだけ丁寧な審査を心がけた。

また会場に足を運べない方へ向けてYouTubeでのLIVE配信を行った。

**【プレゼンテーション及び質疑応答】**

全15作品の出展学生が説明5分及び質疑応答4分の持ち時間で各自プレゼンをおこなった。

**【一次審査：15作品から8作品を選出】**

まず最初にプレゼン及び質疑応答や会場の展示作品などの印象から各審査員による投票を行った。（審査員は推し作品に2点、その他の作品に1点の配分で投票）

投票結果を踏まえ、審査員によるディスカッション・推し作品の（応援）説明などを行い最終的に以下の8作品を二次審査に進めることとなった。

**一次審査通過作品**

No.3　「柔軟な建築」得票数：15
No.5　「シン・旦過市場　再生計画」得票数：15
No.7　「終のすみか」得票数：14
No.8　「祝うように住まう」得票数：13（投票1-2：5票）
No.9　「転がる石灰岩、秩父の森を利する」得票数：14
No.10「お寺で子どもを育む屋舎」得票数：13（投票1-2：5票）
No.12「都市の骨核」得票数：13（投票1-2：6票）
No.13「生々流転」得票数：14

**【二次審査：一次審査を通過した8作品から受賞対象を選出（5作品）】**

二次審査に通過した作品の模型を中央に移動し、各作品に対して模型を見ながら評価する点や、またそれに対する反対意見などを審査委員でのディスカッションを行った。また作品に対する疑問点などがあった場合は、学生に追加説明を求める機会を設けるなど、より深い理解のもと審査を進めた。

学生からの追加の説明、審査員による評価・共感できなかった点や惜しまれる点などを解説・発言してもらうことで票の揺れ動きが生じ、各審査員が推しの3作品に対し10点の持ち点を自由配分で投じる投票を行った。（点数配分はひと作品に最大で7点とする）投票の結果、受賞対象数の5作品に絞りきることができず、討議の結果以下の6作品で最優秀を決める三次審査に進むことになった。

**二次審査通過作品**

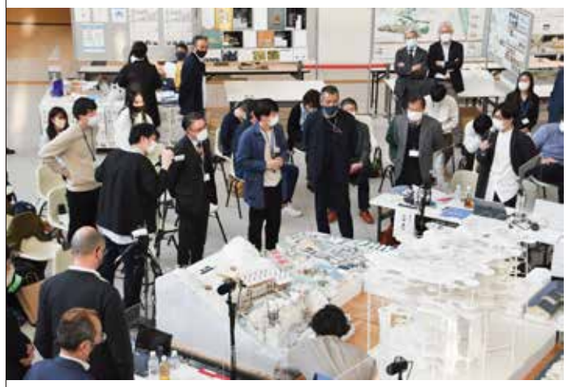
No.3　「柔軟な建築」得票数：12
No.5　「シン・旦過市場　再生計画」得票数：17
No.7　「終のすみか」得票数：10
No.8　「祝うように住まう」得票数：9
No.9　「転がる石灰岩、秩父の森を利する」得票数：10
No.13「生々流転」得票数：17

**【三次審査：最優秀・優秀の3作品を選出】**

各審査員が最優秀に相応しいと思う1つの作品に投票を行った。

投票の結果、以下の得票数となった。

No.3　「柔軟な建築」得票数：1（佐々木）
No.5　「シン・旦過市場　再生計画」得票数：3
　　（磯野、蒲生、アントニオ）
No.7　「終のすみか」得票数：0
No.8　「祝うように住まう」得票数：2（河原、河内）
No.9　「転がる石灰岩、秩父の森を利する」得票数：0
No.13「生々流転」得票数：2（田邊、向後）



得票数を確認しつつ、最優秀にふさわしい作品であることを審査員で確認しNo.5の作品を最優秀賞とすることを全員合意の上決定した。

続いて優秀賞2作品の選定については、ふたりの審査員が推し作品として評価をしているNo.8とNo.13の作品に決定した。

**最優秀賞**

No.5　「シン・旦過市場　再生計画」　酒井 裕太

**優秀賞**

No.8　「祝うように住まう」　香西 智貴
No.13「生々流転」　大槻 瑞巴

**【特別賞の選出】**

特別賞については三次審査に進出した作品を中心に、賞にふさわしい作品を審査員による協議により以下のふた作品に決定した。

**特別賞**

No.3　「柔軟な建築」　酒井 裕太
No.9　「転がる石灰岩、秩父の森を利する」　川内 俊太朗

**【JIA全国大会出展3作品の選出】**

最優秀賞及び優秀賞の上位3作品をJIA全国大会出展とすることを審査員全員で協議し決定した。

なお、その他の賞として以下の作品を選出した。

**JSCA賞：日本建築構造技術者協会から出向の審査員が選定する賞**

No.13「生々流転」　大槻 瑞巴

**なの花会賞：これまでの出展者メンバーが選出する賞**

No.7　「終のすみか」岩間 小春

## 「開催を終えて」

冒頭に述べた、審査員及び出展学生による対話と討議を重視しできるだけ丁寧な審査を心がけたつもりではあるが、その結果に悔しく納得できない思いをした学生もいるかと思う。しかしながらこの千葉県建築学生賞に参加できたこと、そのことを誇りに、また悔しさをバネに今後の進路の中でまた大きく成長し活躍してほしいと思う。

今年は会場をきぼーるのアトリウムに移し、自然光の入る開放的な雰囲気での審査会となった。いろいろと制約の多い中、審査に集中できる環境で公開審査会が実施できたのは、実行委員及びさまざまな関係者の皆様にご尽力いただいた結果である。また、都合により会場に足を運ぶことができなかった皆様にも審査の様子をお届けできるようにYouTubeでのLIVE配信も実施し、多くの方に見ていただける審査会が実現できたと思う。

中野 正也

# 第35回千葉県建築学生賞　審査経過

## 一次審査

| No. | タイトル / サブタイトル | 投票 1-1 | | 投票 1-2 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 集計 | 結果 | 集計 | 結果 |
| 1 | 入れ子とギャンブレル<br>生業の空間資源である堆肥場と旧牛舎を活かした村おこし | 12 | --- | 3 | --- |
| 2 | 千葉県印西市木下地区におけるフリースクールの提案<br>空き家活用による地域再生を目指して | 10 | --- | 0 | --- |
| 3 | 柔軟な建築<br>機構を用いた建築の可能性 | 15 | 通過 | --- | 通過 |
| 4 | 常ノ伽藍 | 10 | --- | 1 | --- |
| 5 | シン・旦過市場　再生計画 | 15 | 通過 | --- | 通過 |
| 6 | なつかしくて優しい町を留める方法 | 12 | --- | 3 | --- |
| 7 | 終のすみか<br>孤独な最期を迎えない住まいの物語 | 14 | 通過 | 1 | 通過 |
| 8 | 祝うように住まう<br>住宅形式の更新による他者と島民の庭 | 13 | --- | 15 | 通過 |
| 9 | 転がる石灰岩、秩父の森を利する<br>石灰石加工工場に対する材木加工工場と見学塔の挿入による産業の変化 | 14 | 通過 | --- | 通過 |
| 10 | お寺で子どもを育む屋舎<br>柴又帝釈天における小学校の提案 | 13 | --- | 5 | 通過 |
| 11 | まちの庭 ～君の居場所～ | 10 | --- | 0 | --- |
| 12 | 都市の骨核<br>大屋根が織りなす行政と市民のインターフェース | 13 | --- | 6 | 通過 |
| 13 | Case-α「生々流転」 | 14 | 通過 | --- | 通過 |
| 14 | つながるファミリー<br>児童養護施設の提案 | 8 | --- | 0 | --- |
| 15 | ラストランのあとで | 11 | | 1 | --- |

## 二次審査

### 投票 2-1

| No. | 河原 | 磯野 | 佐々木 | 河内 | 田邊 | 向後 | 蒲生 | アントニオ | 集計 | 結果 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3 | | | 4 | | 3 | 1 | 4 | | 12 | 通過 |
| 5 | 4 | 5 | | | | | 2 | 6 | 17 | 通過 |
| 7 | 3 | | | | 3 | | 4 | | 10 | 通過 |
| 8 | 3 | | | 6 | | | | | 9 | 通過 |
| 9 | | 4 | 3 | | | | | 3 | 10 | 通過 |
| 13 | | | 3 | 3 | 4 | 6 | | 1 | 17 | 通過 |

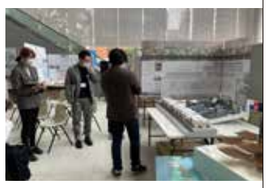
## 三次審査

### 投票 3-1

| No. | 河原 | 磯野 | 佐々木 | 河内 | 田邊 | 向後 | 蒲生 | アントニオ | 集計 | 結果 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3 | | | 3 | | | | | | 3 | 特別賞 |
| 5 | | 3 | | | | | 3 | 3 | 9 | 最優秀賞 JIA |
| 7 | | | | | | | | | 0 | --- |
| 8 | 3 | | | 3 | | | | | 6 | 優秀賞 JIA |
| 9 | | | | | | | | | 0 | 特別賞 |
| 13 | | | | | 3 | 3 | | | 6 | 優秀賞 / JSCA JIA |

# なの花会 レビュー

今回のなの花会賞は会場に訪れたなの花会メンバーと、オンライン配信を見ていたメンバーそれぞれからの投票／意見をもとに決まりました。選ばれた作品は岩間さんの「終のすみか -孤独な最期を迎えない住まいの物語」です。“作らない建築”、実際の祖父母の家を対象とした計画は、時の経過の中で減築され、居場所が地域に対して徐々に開かれていくリアリティのあるストーリーでした。目の前の課題に丁寧に取り組み、そして『この風景ができると素敵だよね』と思わせる提案が審査メンバーの共感を呼び、多数の支持を得て選定となりました。



## 審査参加メンバーからの感想

*佐藤　有希子（第34回出展）*

東京理科大学大学院 理工学研究科 建築学専攻 修士1年

千葉県建築学生賞なの花会レビューに参加する機会をいただき、誠にありがとうございました。近年の社会問題に対して考えている作品から何か新しい建築の在り方を生み出そうとする作品まで多岐にわたり、見ているのが大変面白かったです。

また、直接お話しを伺うことが出来た作品では、本人からの生の声を聞くことで、社会に対する想いがより強く伝わって来ました。

皆さんの作品から刺激を受け、私自身もより視野を広げて頑張っていこうと思いました。社会人になっても、ここで考えていた社会に対する想いを忘れずに精進して参ります。

*馬場　亮平（第21回出展）*

OOOarchitecture 代表取締役

腑に落ちる建築は、社会的背景、地域課題、気候風土、構法、持続可能システム...等、数多くの複雑な条件が重なるシンプルで美しい建築だと思います。今年の作品は、ますます複雑化する社会においても、観察から条件を拾い上げ、建築を通じて丁寧に物語を紡いでいる作品が多く見受けられました。

一方、社会性とは距離を置いても、卒業設計の醍醐味ともいえる学生一人一人のパーソナリティが色濃く表出したパワーのある作品が見られたのも楽しい時間でした。

来年度以降も両者を兼ね備えた、エネルギッシュで腑に落ちる建築に出会えることを期待しています。

*皆川　拓（第19回出展）*

AQT一級建築士事務所 代表

OBとして毎年多くの気づきと学びがある学生賞大会、今回も楽しく参加させて頂きました。

今年は特に時間軸、地域性を感じる作品が多く、目の前の課題にじっくりと向き合う丁寧な作品が多かった様に思います。学生さん達の実直に建築に向き合っているからこそ気づける地域や社会の問題。そしてそれを建築で解決し、未来の可能性へと繋げていく視座。

私自分が学生賞大会に出展してから15年以上の月日が経ちましたが、だからこそ今の現役の学生さんたちの真摯な思いが見る人々に訴えかけるのだと感じました。

卒業設計はこれから社会、そして建築の世界で歩んでいく上での一つの道標だと思います。私自身も当時テーマとして考えたことが今の仕事に繋がっていますし、学生の皆さん、是非卒業設計で考えたテーマを大切に、素晴らしい学びを深めていってください。

*佐久間　達也（第5回出展）*

一級建築士事務所 佐久間達也空間計画所

多様性の時代にそれぞれ自由に目標を掲げて制作した作品を見比べて優劣をつけることなどナンセンスと言えると思うものの、会場に並べられた作品を見ると大いに刺激を受けます。2日目のレビューでは作品を見るだけでなく会場で出展者と直接やりとりできて良かったと思います。少し時間が経ち改めて出展作品を見直して、Case-α「生々流転」は独創的で強く印象に残る作品で、この個性とエネルギーを是非将来も持続させて欲しいと思います。出展者の皆さんが今後ますますご活躍されることを願っています。





## 1. 入れ子とギャンブレル

**Review**

・用途として何を設定するか→体験農業、宿泊施設･･･他の用途は考られないか？

・建物一つ一つ（点）で計画するのではなく、点が線、線が面になるような発展があると良かった。

・既存の建物を空間資源として利用することは理解できた。それによって町がどの様に変わっていくかの姿が見たかった。

・堆肥を建築のエネルギーとして利用できないか。

Exhibitor
**山下さん**

## 2. 千葉県印西市木下地区におけるフリースクールの提案

Exhibitor
**川崎さん**

**Review**

・サドベリー形式のスクール→不登校には色々なタイプがある。それぞれの不登校に対応できる施設は想定されているか。

・フリースクールを町に点在（配置）することによって何が生まれるか。

・川崎さんの理想とする子育ての環境がこの作品でどう表現・具現化されているか。

・本人は不登校に対してどうゆうイメージで考えているか聞きたかった。

## 3. 柔軟な建築

**Review**

・固定するピンの様な最小の操作で成り立つようにすると良かった

・なぜこの三つのシーンを抽出したのか、もっと分かりやすく説明されていると良かった。

・環境に寄り添うことの意味を説明できていると良い。？形の操作の方に力を入れすぎているように感じる。

・レゴブロックで構成されていけばもっと良いのではないかと思った（＝レゴブロックくらい身近で手軽で直感的に操作できるもの）。

Exhibitor
**酒井さん**

## 4. 常ノ伽藍

Exhibitor
**尾沢さん**

**Review**

・全体的にかなり力技の作品でそこまで必要かと感じる一方、卒業設計らしい自分のやりたいことをやり切った感じがあるのは好感。

・仏像の保存と避難施設という二つのプログラムを合わせ技にしなくても、仏像の保存というテーマを中心軸に置くとより良いプログラムができたかもしれない。

・三井ガーデンホテル京都河原町浄教寺がこのスタイルに近い開発をやっているので、参考に見てみると良い。

## 5. シン・旦過市場 再生計画

**Review**

・現在の旦過市場は川にせり出す風景があるので、水路（川）と建物の繋がりが無いのが疑問に感じた。

・今までの旦過市場も水路に背を向けていたので計画もそうしているのかもしれないが、わざわざ水路を拡張した操作をしているのであれば建物との関係性を持たせる計画とした方が良かったのでは。（参考：安藤忠雄・タイムス）

・今の旦過市場のタテ・ヨコの動線が消えている。A地区も段階的であっても計画に含めると良かった。

・力作ではあるが、システム的に構築する空間はこれまでの卒業設計で良く出る造形なので、もう一歩オリジナリティがあると良かった。

Exhibitor
**津留さん**

## 6. なつかしくて優しい町を留める方法

Exhibitor
**石田さん**

**Review**

- アプローチ（参道）の両側の真壁がスケールオーバーだと感じた。
- 既存建物のアーカイブの基準の説明があると分かりやすかった。
- 作者の実体験がもとになっているので、説得力のあるストーリだと感じた。
- デリケートなテーマから入っている分、アウトプットする建築ももう少し力の抜けた（柔らかさのあるもの）でも良かったかもしれない。

## 7. 終のすみか

**なの花会賞 受賞作品**

**Review**

- 土間が開放されているが、その空間が本当に地域に上手く開放されているか？もっと説明があると良かった。ただし、土間こそ何もなくても特別な機能を発揮する空間では？とも感じる。
- 何故、図書と食品庫を増築したのか→今ある既存の建物（フレーム内）で処理（計画）した方が計画に強さが出たのでは？
- 町に本当に「開く」ことのありかたを突き詰められるとより良い。

Exhibitor
**岩間さん**

## 8. 祝うように住まう

Exhibitor
**香西さん**

**Review**

- 県境はプログラム、建物の形態にどいう影響を与えているのか？「県境」のキーワードがデザインコードとして読み取れなかった。
- 外からの観光客とどう交流が生まれるのか、外からの来訪客は季節性もあるので、シーンごとに分かりやすく提案できていると良かった。
- 建築の造形にもっと力があっても良かった。

## 9. 転がる石灰岩、秩父の森を利する

**Review**

- 緻密な模型で表現されている力作である。
- 新旧に機能が絡まるように展開しているところが面白い。
- 木材が展示物になっているところをもっと表現するといいと思った。
- 同じ様に石灰石のストック、切り出された痕跡も展示となればいいと思った。
- 石灰石の歴史と、木材加工の関係性（相乗効果）が言えるとより良かった。

Exhibitor
**川内さん**

## 10. お寺で子どもを育む屋舎

Exhibitor
**山田さん**

**Review**

- 寺子屋→小学校との関連性がよく分からなかった。
- 体育館は何故地下に入れるのか説明があると良い。例えば、ここは水害が懸念される地域→敢えて地下とする意味があれば良い→川が氾濫した時の調整池・治水池的な機能があるなど。
- 防災の観点を計画にといりう入れると形態が変わったかもしれない。校舎を持ち上げる意味＝セキュリティー→水害対策となっているなど、建築操作の説明の仕方を工夫すると良い。



## 11. まちの庭 〜君の居場所〜

**Review**

- ボリュームのある建物ではないが考えている（考察）されていることはよく練られた案だと思う。
- 建物単体の空間性まで目を向けると良くなると思う。
- 何よりも、本人がこの計画を信じて取組んでいることが大きく評価できる
- 障害者施設で働いている実体験から提案されており、説得力がある。
- 魅力的ランドスケープ的建築ができている。

Exhibitor
**江頭さん**

## 12. 都市の骨核

Exhibitor
**太古さん**

**Review**

- デザインをまとめるのが上手い。
- 機能的に成立していることをもう少し表現できていると良い。
- 円弧の屋根にもう少しバリエーションや抑揚があっても良い。

## 13. Case-α「生々流転」

**Review**

- 鍾乳洞のしづくが構造となっていないのが残念。
- 絵画を下敷きにしているのであれば柱状のものが出てこない方が良いと感じた。
- 仮想の建築設定としなくても十分成り立つので、実際の建築という設定の方が良かった。（仮想の建築とすると、親近感が感じにくいので）

Exhibitor
**大槻さん**

## 14. つながるファミリー

Exhibitor
**小谷さん**

**Review**

- 施設の現状を丁寧に分析しその解決策を提案している。
- 施設間の繋がりを渡り廊下のみではなく、建物の配置や向き、距離などを考慮して計画するともっと良くなったと思う。
- 4棟の建物のバリエーションが出せると、全体が良い案となる。単体としては丁寧に設計できている。

## 15. ラストランのあとで

**Review**

- 馬の性格を建物の用途に生かすなど、プログラムが丁寧に考えられている。
- これまでに卒業設計で無かったテーマなので、とても興味を引く提案になっている。
- 電車と施設の関係、高低差を巧みに利用している点など、秀逸な設計。
- 建物の部分的なものでも、大きなスケールの模型があるとより説得力があった。

Exhibitor
**椿さん**

市民の声

# 作品へのコメント

**これは来場者から頂いた貴重な声です…これからの糧にしてください**

## ①入れ子とギャンブレル

作品は面白いが、業としての農が見えずらい【建築関係】/ いきいきとした模型で元気が出ます【主婦】/ 文化人類学という点で"生業"というテーマは重要だと感じている。元ある資源を活かした工夫をより磨けば"そのテーマを考える参考の場づくり"としてかつようできるのではないか？【大学生】/ おもしろい【建築関係】/ リアリティーがある【建築関係】/ 風景としては美しいと思う。入ってみたくなる。ただし中途半端に現実使いするのは厳しいかと。(絶対に生々し過ぎると思う)家なら家とか。【建築関係】/ 生き生きとした計画だと思いました【建築関係】/ 既存の建屋を利用した発想か【その他の業種】/ 自分の両親は二戸市出身なので、隣町の計画に見入りました。奥中山も頑張ってください。葛巻がワインで盛り返しているように見えますので、奥中山も牛乳＋αのまちづくりを期待してます。【建築関係】/ ゲストハウスにプラスして、日帰りの体験場所があると良い。【その他の業種】

## ②千葉県印西市木下地区におけるフリースクールの提案

4つのサイトを統合する何か提案が欲しい【建築関係】/ その子供が捉えている事情やニーズに合わせて、いくつかのフリースクールを選択できるところに魅力を感じました。古民家をリノベーションするアイディアも面白いと思いました。【大学生】/ 空き家→フリースクールを結びつけるアイディアが良いと思いました。【主婦】/ 生涯学習というワード、100年時代というわーどがふと頭によぎった。老若男女問わず幅のあるつながりを構築する場となるのではないか。【大学生】/ 問題意識を多くの人々が共有することで様々な対策が問われるのではないか。ひとつの提案としてアリか？【建築関係】/ 現実的【建築関係】/ アイデアは良い。模型のスケールが違和感あり。【建築関係】/ ニュータウンと旧市街地のせめぎ合うところで現実的な提案であることに興味があります。【建築関係】/ フリースクールと地域との関連性、これからの地域再生につながるかがわかりにくかった。【建築関係】/ 一つの通りを使った計画していておもしろいと思った【建築関係】/ 各SITEの周辺環境を考慮した建築の設定がよく考えられていると感じました。【その他の業種】/ 木下も活性化に繋がることを期待します。経済のあり方が変化したことで、にぎわいのあり様が変わりましたが、どの街も真剣に向き合わなければならないことは、いつの時代も変わりません。「まちはこどもから」だと思います。【建築関係】/ 今ある店舗や住民をどのように関わるのかあると良いと思う。【その他の業種】

## ③柔軟な建築

メカニカルアーキテクチャー？生まれる価値があれば…【建築関係】/ 社会が流動的なので、流動的・柔軟な建築は可能性が楽しみです。【主婦】自然への関心が広まっている昨今において(もちろん環境に配慮しながら)この柔軟な建築は自然に馴染むきっかけの場としてかつようできるのではないか又、災害時の臨機応変な対応を迫られた際にも応用できるのではないか。【大学生】/ 構造的なメント芸術的な面、緩やかな斜面に適応する建築の発想が良いと思った。【大学生】/ 接合部の問題なのかな【建築関係】/ 楽しそうな建物ですね。【建築関係】/ もう少し建築的なアプローチが欲しい【建築関係】/ もう一工夫あったらと思う。【建築関係】/ 崖に建てられるものを作りました、という感じ。芸術的作品としては綺麗だと思います。【建築関係】/ 実際にどこかに作ってみたいですね。【建築関係】/ 自然と共存していくイメージが素敵です。【主婦】/ システムとデザインを考える機会をもらったと思いました。投入堂のような建築が全国各地に増えると面白いと思いました。あばれる君にレポートをお願いしたい。【建築関係】/ 構造から考えたのかな、と思う面白い作品。自然に逆らわず溶け込むように作ってありおもしろい。【その他の業種】

## ④常ノ伽藍

面白い発想、デザイン・中を見せる模型【建築関係】/ 実際にあったら利用したい施設だなと思いました。景観が美しいのはもちろん、観光地を堪能できる工夫がなされていて素敵でした。【大学生】/ 実現しそうで楽しみです。宿泊してみたいです。【主婦】/ 禅や仏教が再注目されている現代社会においての精神や心、哲学の再認識が問われるなかできっかけづくりの場になるのではないか。【大学生】/ 大仏を身近に感じられるホテル空間が良いと思った。【大学生】/ 元々、上家があったのか。知らなかった。【建築関係】/ 実現したいですネ。【建築関係】/ 大仏は信仰の対象では？観光のためのものですか？【建築関係】/ 周囲をきちんと表現したい。大仏が全く見えないのはどうか？【建築関係】/ 建築的に美しい【建築関係】/ アイデアとしては思い切って秀逸！だと思います。学生賞らしい。作るとすればこういうのしかないという感じです。【建築関係】/ 入ってみたいと思いました。【建築関係】/ プレゼンテーションがわかりやすい【建築関係】/ わかりやすかった【高校生】/ 発想が面白く、実際にあればいってみたいと思った。また細部まで拘りがアリ、美しい。【建築関係】/ 建物は素敵だと思うが、大仏が宿泊施設というのが受け入れがたい。神仏とレジャーの線引き…【建築関係】/ 神仏に対しどうなの？と思うところもあるが、発想が若くて面白い。アジアっぽい【主婦】/ コンセプトがすごい【高校生】/ 大仏を包む。或いは覆う。安藤忠雄のアンサーリングのようにも思えました。鎌倉の街の中で、どのように建築が見えてくるのかを知ることができる模型があると良かったです。【建築関係】/ 仏をあえて上からも見るという、ある意味タブーに踏み込んだ作品。賛否はあると思うが、この発想は続けて欲しい。【その他の業種】

## ⑤シン・旦過市場再生計画

ヒルサイドテラスを、でも素朴なデザインです。【建築関係】/ 一見キューブで画一的なのかと思いましたが、セルフビルドの余地があるということがプレゼンでよく伝わりました。【主婦】/ 循環型社会が求められる現代において、また、古きも守文化のけいぞくにおいて、「再生」というテーマは今後より重要だと思う。そこに着目したという点で、テーマや発想の将来性を感じた。実現して欲しい。【大学生】/ 1階以上の建物もあって、豊かな空間だと思いました。【大学生】/ 迷路は楽しそうです。身の安全は大丈夫ですか？【建築関係】/ この形になる必然性が欲しい【建築関係】/ 川を広げるのだろう、もう少し親水性があればおもしろかったと思う【建築関係】/ 焼失の大ダメージの後にこういうことを考えるのは凄いと思いますが、何も無理に住まわせなくても…【建築関係】/ 川へのせり出しもあっても良かったではないか。内部にも路地が広がっていて良かったと思う。【建築関係】/ 力作だと思います。【建築関係】/ 模型はうまいと思う。毎年、この手法の作品があると思ってました。【建築関係】/ 現在のイメージを残しつつ、新たに再生されていく街のイメージが心に残りました。【主婦】/ 北九州出身なのでよく分かります。こんなにおしゃれに再生されるとステキです【主婦】/ 北九州頑張れ！と街を応援したくなりました。この作品が放つ情熱が飛梅の如く届くことを願います。【建築関係】/ 火災が起きた場所でもあるので、あえてゴミゴミしたものを作るとその不安がまた出ると思う。【その他の業種】



## ⑥なつかしくて優しい町を留める方法

蓮の葉の下の空間楽しそう、中央の壁が強すぎ【建築関係】/ 模型としては美しいですが、現実の維持が難しそうです。【主婦】/ 町にあるものを肯定したり、新しく造ったりすることでギャラリー、町の博物館、懐かしさを感じる。よりよい町をつくることができてステキだと感じました。【大学生】/ 懐かしいかどうかは分からないですが、面白そうです。【建築関係】/ 懐かしい感じが屋根の形とマッチするのかわからない。細工が細かく時間がかかっている。【建築関係】/ 力作だと思う【建築関係】/ 帆掛船のイメージが、これだったのかなと…それなら道の駅レベルとして作れるのなら、楽しそうです。【建築関係】/ 不揃いな空間で直線的参道のようなものが必要だった理由がわからなかった。【建築関係】/ 懐かしさを留めることになるのかが？【建築関係】/ 個人の感情である懐かしさを基準に多くの人が使う建築を作ることに疑問を持った。【建築関係】/ 蓮だったとは!?さすが土浦をよく知っている人なのだろうと思いました。ハス入りのレトルトカレーを買ったことを思い出します。2枚の壁が植村直己記念館を思い出させます。このカイコウが何を生むのだろうと期待しました。【建築関係】/ 周囲の景観からすると多少奇抜なところもあるが、土浦という全体を考えると良いと思う。【その他の業種】

## ⑦終のすみか

孤独的な暮らし、孤独な週末～一助になるか？【建築関係】/ 人が住んでいるか分からない家は、見てる方も不安になりますが、開放的なつくりにすることでそこに住んである人も通りかかる人も安心できるように思いました。温かい発想で素敵だと思いました。【大学生】/ 広い敷地のある地方ならではの発想であり、ゆとりを感じました。足腰が丈夫でないと！！と元気が出ます。減築にも費用がかかるのが辛いです。【主婦】/ 閉鎖的な空間ではなく、開放的な空間になることが良いと思いました。【大学生】/ これからの課題として真剣に考えるべきテーマ【建築関係】/ 大事なテーマですね。しっかり考えていますね。【建築関係】/ 本当に孤独死がなくなるのか不明【建築関係】/ 丁寧につくられている。設定時間がとても長いのが疑問【建築関係】/ 町の人が、その人が引っ越してきたときに「あー、あの人死にに来たのかー」ってなるのでしょうか…私なら受け入れられません。忌避施設です。コンセプトは美しいと思いますが。【建築関係】/ 本当に実現させたいです。【建築関係】/ 計画に沿えるストーリーでやさしく、素敵だと思いました。【建築関係】/ 物語まで考えて、実際にあってもおかしくないと思った。【高校生】/ 建物の物語であることが面白い。住む人手はなく、建物も「死」を迎えることを多くの人に知らしめる社会的な提案だと思います。何処かの自治体がトライしてくれるといいな、と思いました。【建築関係】/ プライバシーと共存の間で良く計画できていると思う。【その他の業種】

## ⑧祝うように住まう

明るい島の暮らしが伝わってくるもけいですね。提案は？【建築関係】/ 手書きのパースが味があって良かった。【大学生】/ 賑やかな活気のある集落がイメージできます。【主婦】/ 実現できると良いですね。【主婦】/ にぎわいが出るのか不明【建築関係】/ 島の情景をとても細かく丁寧に読み込んでいる【建築関係】/ 模型のできはアレですが、考え方はアリだと思います。付かず離れず、を盛り込むのは現実的でアリだと思います。【建築関係】/ 具体的な提案はおもしろいと思った【建築関係】/ 集落調査をやられているところが良いです。その上で提案を導いている姿勢に好感を抱きます。色々と詳しく聞いてみたいです。【建築関係】/ 大きいことをあえてせず、今ある現状をより良くする形が良いと思う。【その他の業種】

## ⑨転がる石灰岩、秩父の森を利する

石材の発掘場から木材場へ～建築としての提案が？【建築関係】/ 木の表現が楽しいです。なので、新築部分の工夫をもっと強調しても良いかもです。産業との関係をテーマにして面白いです。【主婦】/ 博物館・工場見学【大学生】/ 見せ方は良いが計画がわかりにくい【建築関係】/ 発想がおもしろいです。【建築関係】/ よく考えられている【建築関係】/ テーマ、コンセプトは良い。全体的にバランス良い。【建築関係】/ バラバラの意匠のものを盛り込めるのは、セメント工場のような条件でこそと思いました。個人的に好きです。【建築関係】/ 本当に迫力がある作品ですね！【建築関係】/ おもしろいテーマだと思いました。【建築関係】/ 秩父セメントの町、再生を建築のデザインで解決したいという気持ちが伝わってきます。その思いをライフワークにして生きてください。【建築関係】/ 武甲山で何をしているのか分からない秩父以外の方々への良いアピールになると思う。強いて云うならもっと無機的でも良いと思う。【その他の業種】

## ⑩お寺で子どもを育む屋舎

隣接する寺と幼稚園とプランの関係がもう少しあれば。【建築関係】/ パネルの説明がよい【その他の業種】/ フレキシブルで楽しい小学校だなと思いました。「あくハコ」のおかげで、教室の環境設定の幅が増すので、ありがたいように感じます。【大学生】/ 子どもひとりひとりへの配慮から対称エリア全体への配慮までがしっかりとしたコンセプトに沿って行き届いている作品だと思いました。連続性への配慮が緻密で明解です。【主婦】/ 境内を敷地とする。仕掛けが沢山ある。【大学生】/ 話の展開がうまい【建築関係】/ 少子化に向け実現すると良いですね。【建築関係】地域全体でのケアーが大切ですね。【建築関係】/ おもしろい【建築関係】/ 都市の中にこのような平屋の屋根があると美しい。【建築関係】/ 帝釈天で、っていう但し書きがあると、少し違うかァと。瓦屋根でいいと思うんですが…地下の体育館は素敵です。【建築関係】/ お寺に小学校を計画する意味合いについてもう少し切り込んだストーリーなり説明がほしいな…【建築関係】/ 柴又ですか！しかもお寺の隣で、建築のヴォリュームを周囲の建物に合わせる努力がステキです。地下スペースがあるのが気になりますが、今は水害の心配は大丈夫なのでしょう。これも現代的な解決方策なのだろうと思いました。【建築関係】/ あえて難しいエリアに考察入れたのが良い。寅さんの何かを作ってしまいがちな場所へ違うエッセンスを入れるのが良い。【その他の業種】

## ⑪まちの庭～君の居場所～

楽しそうな公園、子どもと大人を分けて結ぶ？空中歩廊の下の空間利用は？【建築関係】/ 緑の表現が力強く風が感じられてきます。【主婦】/ 開放的な空間は人々のゆとりづくりの場となる。【大学生】/ 子どもが過ごしやすい空間だと思いました。【大学生】/ 実体験から来る問題提起が良い。【建築関係】/ 多様な世代…なのに大人、子供の動線が別れる？子連れはどうする？⇒々でも良くないか発想が良いので、もう少し練り上げたら良かったです。【建築関係】/ 視点が変化する楽しさがありますね。【建築関係】/ 少しよわい【建築関係】/ 模型がキレイ。こんな外部空間があるとおもしろい【建築関係】/ 訳ありの子供が見世物的になってしまうんでないかな…本人達が幸せであるならよいのですが。【建築関係】/ 楽しそうな空間になっていますね。【建築関係】/ とてものびやかで気持ちの良い建築で好感持てました。【建築関係】/ 木は老朽化しやすい。メンテナンス維持するのは大変では？手摺り等がないと…【建築関係】/ こんな庭あったら良いと思いました。【その他の業種】/ 今は居場所を与えてあげたいと思える時代なのだと強く思いました。大切なことだと思います。そのための街の設えを意識することはと思いつつ、街は荒野のようなもので、自分の居場所は自分で見つけるという気持ちも大切だと改めて感じました。【建築関係】/ 安全性がしっかり担保されていればとても面白い。街を分断していないのが分からないが、それがなければ良い。【その他の業種】/

## ⑫都市の骨核

大屋根の下のパビリオンの様な庁舎は楽しそうだが。【建築関係】 / 市場のような屋根がインパクトあります。最高の点が弱いようです。【主婦】 / "市民主導と行政サポート"という新しいまちづくりの仕組みづくりが始まっている。開放的で境界のない空間は人とのつながりを促すのではないかと思う。【大学生】 / 屋根の下に広がる協調空間が良いと思いました。【大学生】 / どこか中心になる場の設定と屋根への発想があるといいのではないでしょうか？【建築関係】 / 庁舎に来る世代って？人口が少なくなるのに市民の活動は誰？を対象に庁舎は何のために必要か？DX（庁舎に来ないことが前提）今後の庁舎→商業施設と合体、便利→人が来る【建築関係】 / 行政の難しさが解けていない【建築関係】 / 大屋根は、軽やかで美しい内部空間に工夫が欲しい【建築関係】 / 「銚子で」っていうのだけが引っかかります。ただでさえ津波が怖いのに…もう少し高い場所で作れればと。面白いですが。【建築関係】 / これからの行政のありかたとして、おもしろい計画だと思いました。【建築関係】 / 屋根がすごい【大学生】 / 台風の通り道になる千葉には構造的に難しい気がする。人口分布でも老人が多いと思う。若者向け過ぎる気もする。【建築関係】 / とてもとても考え抜いたのではないか、銚子の街のこと。屋根のかたちの美しさが街全体にどのような影響を及ぼすのだろうかと考えました。なので、街の模型が大きいともっと良かった。市庁舎という建築が、街に何をもたらすのか、もっと伝わってくるのだろうと思いました。【建築関係】 / DXという建築と関わらない問題を違う角度から出していることが良い。【その他の業種】

## ⑬Case-α「生々流転」

とても素敵なインアート、哲学的な造形か？【建築関係】 / パネルが読めない【その他の業種】 / 模型のクオリティが高い。芸術的美しさがある。【大学生】 / 一度歩いてみたいです。【主婦】 / 幻想的な柔軟性のある構築は中に入る人々に新しい体験を与えるのではないか。【大学生】 / 芸術的で実際に建ててみたら、すごく面白いかなと感じました。【大学生】 / 横山大観日本画。なるほど地震に弱い、言い訳ずるい【建築関係】 / 未来に向けた建築楽しみにしたいです。【建築関係】 / 雨が降るときだけの体験ですか？いろいろな天候でおもしろい事が起こるといいですね。【建築関係】 / すごい建築としての意味がほしい【建築関係】 / 大作だと思う雨水がどのようにしたたり落ちる（流れる）のか想像できなかった【建築関係】 / 中で寝転がることもできませんね。綺麗なことと々で、運転している人には見えないという。【建築関係】 / 水音が聞こえそう【建築関係】 / パネルが見ずらかったことが残念。パネルの枚数を増やして、文字や説明がもう少し大きくしてもいいのでは…【建築関係】 / すごすぎるのか？一般人には理解がムズカシイです。【主婦】 / すてきです。【その他の業種】 / ポスターの印象が良い。【高校生】 / なんだか分からないが、建築する力を持った人が設計していると思いました。建築の機能など、もはや気にならなくなる強さが面白いです。アッパレ！と思いました。【建築関係】 / 実際建築としては難しいが、この様な発想は大切。動線がわかりにくいが、整理されているのであれば良い。【その他の業種】

## ⑭つながるファミリー

恵まれない子ども達への目線は素晴らしい。将来への期待。【建築関係】 / 児童養護施設なのに1つ1つの建物があって凄いと思った。また、回りに建築物勝手いいと思った。あと地下も利用していて良いと思った。どうやって支えているのか気になった。【中学生】 / 建物に囲まれたお庭になっていて、ホーム感があり温かいなと思いました。明かりの通りと吹き抜けのデザインが素敵だなと思いました。【中学生】 / 子ども達の気持ちに寄り添った設計で良かった。【大学生】 / 具体的ですぐにでも実現できそうです。【主婦】 / いろんな大人がいるという不安感を与える点でも効果的に思う。【大学生】 / 子ども達と職員の交流ができる素敵な計画だと思いました。【大学生】 / ケア児童が吹抜けで上下のコミュニケーションするか？老健みたいですね、もう少し子供に特化しても良いか男女は？【建築関係】 / テーマがよい【建築関係】 / 実現できそうな計画【建築関係】 / 店舗兼住宅のような感じは、児童福祉施設にありそうでないかと（マンションの1階とかでなく）。新しいなと思います。【建築関係】 / 現状の問題点について、もう少し踏み込んだリサーチをしていくと説得力のあるものになるのではと思いました。【建築関係】 / 屋根がかわいい【大学生】 / 社会問題になっていることをきちんと解決できそう【高校生】 / 実現性が高い作品だと思いました。模型の添景で賑やかさが演出できたなら、もっと魅力的に見えたのだろうと思いました。【建築関係】 / あえて奇をてらわず、現実的な作品として作られているのが良い。【その他の業種】

## ⑮ラストランのあとで

セラピーが欲しいのは馬か人か？【建築関係】 / 人と馬が温かなアイディアでほっとします。【主婦】 / 生命や暮らしという点で、体験する場づくりというのは重要になっていく気がする。【大学生】 / 馬、人、建築の発想が良い。人間だけの生活の場でないことすばらしい。実現してみたいですネ。【建築関係】 / 馬は確かに遠い存在になってしまいましたね。乗馬クラブぐらいしかないですね。【建築関係】 / テーマがよい建築としての良さが欲しい【建築関係】 / 馬！なかなかおもしろい【建築関係】 / 電車からあの名馬が見られる！というのは楽しいと思いますが、さすがに狭いし、聞きたくない話が耳に入ってきそうな…。【建築関係】 / 着眼点がおもしろいと思った。模型もきれいですね。【建築関係】 / 競馬の馬と結びつけるのがおもしろい【大学生】 / 視点がすごいと思う。【高校生】 / 馬への愛を感じます。中村トオルのナレーションが聞こえてきそうです。模型が端正だと思いました。でも武蔵野線沿いでなくても良かったのではないか？と気になりました。【建築関係】 / 都市部との間でしっかりとしたものが作れているのが良い。周囲に車が多いえりあなので、その部分のみ気にはなる。【その他の業種】

Comments

# 高校生の部　作品へのコメント

## ①椿ノ海図書館

コンセプトがよく表現されていて、美しいです。【主婦】 / 頑張りましたね。【建築関係】 / トータルバランスが良い【建築関係】 / 図書館としてきれいなので、行ってみたい【主婦】 / プレゼンテーション、模型の完成度としても高校生徒は思えない程の出来です。素晴らしいと思いました。【建築関係】 / 模型がきれい【高校生】 / 椿をイメージして素敵だと思います。こんな図書館が近くにあると良いな。【主婦】 / おしゃれです。名前と円形もステキ。【主婦】 / 時間がかかっていると感じた。【高校生】 / 円形平面がツバキから来ている。ツバキは、昔の土地の名前から来ている。いいですね。きれいです。【建築関係】 / 良くまとまっているなあと思いました。実直な計画でアリ、内部空間の可能性が色々とあるように感じました。そのあたりを聞かせて欲しいと思いました。【建築関係】 / 高校生とは思えない程、しっかりとした計画がされている。このままデザインを究めて欲しい。【その他の業種】

## ②中庭で広がる人との絆

美しくムダのないデザインでコスト面もクリアできそうです。【主婦】 / 気持ちよさそうな中庭が良い【建築関係】 / どんな感じで中庭に日が差すかが気になってしまった。【建築関係】 / 中庭に注目して、住宅を考えたところがよいですね。外観がもっと楽しくしても良いのにと、更なる期待をしてしまいました。【建築関係】 / もう少し創造性が欲しいかなと。作りとしては良い。【その他の業種】



## ③重なり繋がる家

すぐにでも発注が出来そうです。【主婦】 / 実現できそうな二世帯住宅【建築関係】 / 模型がきれい【建築関係】 / 構成力がある人なのだろうと思いました。住宅以外の設計も見てみたいと思いました。【建築関係】 / 共有スペースのつくりかたが 上手いと思う。扉だけにしないのがGood。【その他の業種】

## ④Start line

現実的で美しい仕上がりです。【主婦】 / 平面計画が良く出来ている。ドッグラン広場は人工芝ですか？【建築関係】 / 外部からドッグランへの動線がどうなっているのか気になってしまった。【建築関係】 / ありそう【高校生】 / 災害時などの建物への影響が心配。地下へ続く階段からの雨水のしんにゅうなど…【建築関係】 / すぐにでも建てられるのではないかと思いました。屋内的な空間に絆があるのが良いです。【建築関係】 / 川に面している遊び場の屋根をもう少し開放的にできれば良いと思う。【その他の業種】

## ⑤Local Residents House

明るく開放的でコンセプトによく沿っていると思います。コーナー部分に意欲を感じます。【主婦】 / 多世帯で利用する広場が魅力的【建築関係】 / 中庭でどのように人々と結びつけるか、交流が生まれるかを建物と結びつけられると良いと思う。【建築関係】 / テーマと設計との関係性が良いと思います【建築関係】 / 良くまとまっているなあと思いました。実直な計画だと思いました。内部空間の解説がもっとなされると、空間の魅力が伝わってくるのだろうと思いました。【建築関係】 / 中庭の床材室が気になる。転倒リスク等を考え、ソフトなものが良い。【その他の業種】

| | ①入れ子とギャンブレル | ②千葉県印西市木下地区におけるプリースクールの提案 | ③柔軟な建築 | ④常ノ伽藍 | ⑤シン・旦過市場　再生計画 | ⑥なつかしくて優しい町を留める方法 | ⑦終のすみか | ⑧祝うように住まう | ⑨転がる石灰岩、秩父の森を利する | ⑩お寺で子どもを育む屋舎 | ⑪まちの庭～君の居場所～ | ⑫都市の骨核 | ⑬Case-α「生々流転」 | ⑭つながるファミリー | ⑮ラストランのあとで |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 美しくきれい | 8 | 4 | 5 | 5 | 9 | 7 | 2 | 6 | 4 | 6 | 11 | 8 | 14 | 3 | 6 |
| 迫力がある | 8 | 2 | 2 | 2 | 7 | 12 | 1 | 5 | 13 | 1 | 5 | 11 | 15 | 1 | 1 |
| 独創性がある | 6 | 2 | 2 | 14 | 7 | 8 | 6 | 5 | 12 | 8 | 5 | 3 | 13 | 1 | 8 |
| テーマや発想が面白い | 16 | 9 | 9 | 9 | 7 | 8 | 12 | 9 | 11 | 15 | 9 | 8 | 7 | 7 | 15 |
| 説得力がある | 3 | 6 | 6 | 2 | 5 | 4 | 6 | 3 | 2 | 5 | 5 | 1 | 3 | 11 | 3 |
| デザイン性に欠ける | 1 | 3 | 3 | 3 | 0 | 1 | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 2 |
| インパクトが弱い | 0 | 2 | 2 | 2 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 2 | 2 | 1 | 0 | 4 | 2 |
| 独創性に欠ける | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 2 | 2 | 0 | 2 | 0 |
| テーマや発想に共感できない | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 説得力が弱い | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 2 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | 1 | 0 |
| あなたの最も好きな作品 | 8 | 3 | 7 | 26 | 16 | 13 | 16 | 7 | 29 | 4 | 14 | 10 | 9 | 4 | 5 |
| | | | | | | | | | 市民賞 | | | | | | |

| | ①椿ノ海図書館 | ②中庭で広がる人との絆 | ③重なり繋がる家 | ④Start line | ⑤Local Residents House |
|---|---|---|---|---|---|
| 美しくきれい | 14 | 3 | 4 | 2 | 0 |
| 迫力がある | 6 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 独創性がある | 5 | 1 | 1 | 1 | 4 |
| テーマや発想が面白い | 7 | 3 | 3 | 3 | 4 |
| 説得力がある | 6 | 6 | 8 | 6 | 7 |
| デザイン性に欠ける | 0 | 0 | 2 | 1 | 1 |
| インパクトが弱い | 0 | 3 | 0 | 1 | 1 |
| 独創性に欠ける | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 |
| テーマや発想に共感できない | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 説得力が弱い | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| あなたの最も好きな作品 | 108 | 16 | 18 | 12 | 5 |
| | 市民賞 | | | | |

# 千葉県建築学生賞へのご意見・ご感想・ご要望

直接関係するかは分かりませんが、その他専攻学生との共同制作という発展型プロジェクト（？）のような展開も面白いのではないかと思いました。興味深がったら嬉しいものです。都市や土地開発に力を入れているエリアへの告知は関心の高い住民が多いので効果がより高いように感じます。【大学生】 / ぜひ科学館で何かやりませんか？【その他の業種】 / 初めて見ましたが、とても面白かったです。【その他の業種】 / 全部すごかった。【高校生】 / 明るくて良いです。広々としていて。【建築関係】 / 前回のイオンモールよりきぼーるがいい。【大学生】 / 未来の街が想像できそうで楽しかったです。ユニークな発想が素晴らしかったです。学生の皆さん！頑張ってください。【主婦】 / すごく細かくて、すごいと思いました。また見に来たいです。ありがとうございました。【小学生】 / 大学生は街（町）、高校生は個と感じた。々建築学生でもコンセプトがちがうのではこれを同一視するのは…【その他の業種】 / ポスターもう少し見やすく展示してほしかったです（泣）。時間がなく全部見られませんでしたが、とても興味深かったです。【その他の業種】 / いろいろな展示物があっておもしろかったです！建築に興味を持ちました（^^）【中学生】 / 審査員の先生のお声が聞きにくいことが多かったので、ホールなので音が反響してしまうとは思いますが、改善できればと良いかも知れません。未来明るいした。ありがとうございました。【主婦】 / 学生の方の思い、形の集大成ですね。社会でのご活躍を期待します。【建築関係】 / 初めて来場しました。幕張イオンで行っていたときはなかなか行けなかった。きぼーるは知っていたが、エントランスホールで発表を行うのは声が抜けて聞だった時1990年代は、もっと造形に富んでいたがかなり堅実的な作品が多いように感じた。建築はいわゆる建物としての機能の他に、社会環境問題、工奥が深いです。卒業される学生方の今後のご活躍を期待します。【その他の業種】 / 声が聞こえにくい【建築関係】 / 次回もきぼーるにしてください【建築関係】 / 作品の概要があると良い（A31枚程度）【建築関係】 / 一つ一つ素晴らしい作品に驚いています。学生が作ったとは思えない。良い作品を見られて良かったです。【その他の業種】 / みんな上手に作っていて、すごいなと思いました。【小学生】 / 色々な構造があって楽しめました【高校生】 / 偶然でしたが、未来を感じる作品を見ることが出来て楽しかったです。【主婦】 / マイク音が聞きにくかった。パネルの字が小さすぎて読めない。【その他の業種】 / 展示が見やすくて良かったです。【大学生】 / その道に明るいわけではないので、細かなことはよくわからないということもありますが、感心させられるアイデアが多く見られて楽しかったです。お疲れ様で県内の建築系のある行政職員であるが、町内のポスターで開催を知ることとなった為、今後もポスター等で告知があると有り難い。【その他の業種】 / もう少し会場が広い方が良い。【建築関係】 / どの作品もクオリティが高くて良かったです。【高校生】 / 模型がとても迫力があり、見れて良い経験になりました。【大学生】 / 会場が少々暗く感じました。「人と人とのつながり」をコンセプトにした作品に魅力を感じた。【主婦】 / 素晴らしかったです。まだ若いのに創造力に驚きました。【その他の業種】 / すごいビックリした。【その他】 / 現実にあったらぜひ訪ねてみたい建物でした。【主婦】 / 時間があったらじっくり見たかったです。個性的で、建築への思いが伝わります。【その他の業種】 / おもしろい構成が沢山あって、これらの建物があったら地域がより楽しくなるのではないかと思いました。【中学生】 / 学生さんが作ったとは思えないくらいに細かく出来ていてすごいなと思いました。【小学生】 / ストリーが分かる動画などで作った人の話も聞いてみたい。【その他】 / いろいろな形があっておもしろかったです。【小学生】 / 会場のスケールが大きく、素晴らしい建物の中で展示されていて、刺激をもらいました。【主婦】 / おもしろかったです。【小学生】

# 審査員

審査委員長(会長)

## 河原 泰

Yutaka KAWAHARA

1968年生まれ。神戸大学工学部建築学科卒業、
1992年(株)東畑建築事務所入社、
1997年(株)三菱UFJ リサーチ&コンサルティング出向
2002年独立。現在(株)河原泰建築研究室
代表取締役。
2009年千葉県建築文化賞(回向院市川)
2016年グッドデザイン賞(両国念仏堂)
2019年千葉県建築文化賞(ハレアカラ)
出向元:(公社)日本建築家協会

建築の未来を切り開く若者らしいアイデアを期待します。

回向院市川別院

回向院両国念仏堂

ハレアカラ

副審査委員長

## 磯野 智由

Tomoyoshi ISONO

1974年 千葉県生まれ
1997年 明治大学理工学部建築学科 卒業
1999年 明治大学理工学研究建築学専攻
博士前期課程 修了、第23回日新工業建築
設計競技 入賞、建築学生設計大賞 準大賞
1999年 (株)榎本建築設計事務所 入所
2004年 一級建築士事務所STYLELAB 創設
2014年 一級建築士事務STYLELAB株式会社
大多喜町庁舎建設設業務プロポーザル 優秀賞
共同提案:NAP建築設計事務所 中村拓志
2016年 茂原市認定市民活動団体 CivicTech
Mobara 代表 2022 JIA建築家登録
出向元:(一社)千葉県建築士会

卒業設計として、学生ならではの創造力あふれる作品を、期待しています。

S-倉庫コンバージョン

D-Residence Project　S-サ高住あかね雲

審査委員

## 河内 一泰

Kazuyasu KOCHI

1973年生まれ。東京藝術大学卒業後、同大学
院修了、難波和彦+界工作舎を経て2003年に
河内建築設計事務所 設立。
SDレビュー2002 新人賞、AR award 2009
入賞(HOUSE kn)、2013年に日本建築学会
作品選集新人賞(アミダハウス)、2015年に
JIA新人賞(アパートメント・ハウス)、2019年に
JIA東海住宅建築賞 優秀賞(タンザクハウス)。
2019年から東海大学工学部建築学科の特任
准教授。
出向元:有志

建築は使われ方が変化しても廃墟になっても形とその空間の質は残ります。みなさんの考えた建築のかたちに出会える事を楽しみにしています。

アパートメント・ハウス(2014.千葉)

タンザクハウス(2018.愛知)

審査委員

## 佐々木 達郎

Tatsuro SASAKI

1979年北海道生まれ。千葉工業大学工業
デザイン学科卒業後、同大学院修士課程を修了。
東 環境・建築研究所を経て、2013年に佐々木
達郎建築設計事務所を設立
GD賞 (House-AN)
GD賞 Best100 (OMO5東京大塚)
長野県建築文化賞・GD賞(BEB5軽井沢)
AACA賞・GD賞 (OMO5沖縄那覇)
出向元:なの花会

自分に向き合い、純粋な想いをかたちにした作品に出会えることを期待しています。

BEB5軽井沢

OMO5沖縄那覇

審査委員

## 向後 勝弘

Katsuhiro KOUGO

1953年千葉県生まれ。法政大学大学院 修士
課程工学研究科建設工学専攻修了、千葉県
町村会建築研究所を経て1986年(株)向後構造
設計事務所開設し現在に至る。2014年から
2018年まで(一社)日本建築構造技術者協会
JSCA千葉の代表を務める。
構造設計専業の設計事務所として、建物の耐震
改修に数多く関わるとともに、公共建築から個人
住宅まで、あらゆる構造形式の構造設計を
手がけています。
出向元:(一社)日本構造技術者協会

特別賞としてJSCA千葉賞を設けています。
構造デザインにも目を向けてください。

3階床にPC梁を使った重層体育館

研修施設(RC造)

枠付鉄骨プレー外側補強　熱帯植物園(S造)

審査委員

## 田邊 曜

Hikalu TANABE

1979年千葉県千葉市生まれ。
2002年日本女子大学住居学科卒業後、早稲田
大学大学院修士課程修了。在学中にRenzo
Piano Building Workshop にて研修。
2005年伊東豊雄建築設計事務所入所。
2013年hklstudio設立
(2017年田邊曜建築設計事務所に改称)
2015年 千葉都市文化賞 (旭町診療所)
2019年 iF Design Award 2019 (TIERS)
2019年 千葉県建築文化賞 (旭町診療所)
出向元:有志

卒業設計で考えたことは将来、どう建築を考えるかのベースとなる大切な機会です。
皆さんの考えた建築のプレゼンテーションを楽しみにしています。

旭町診療所

TIERS

# 審査員

審査委員
## 蒲生 良隆
Yoshitaka GAMOU

1961年東京都生まれ
1984年日本工業大学工学部建築学科卒業
(株)協和建築設計事務所から(株)マキノ建築設計事務所を経て1995年がもう設計事務所 開設
2011年株式会社がもう設計事務所 設立
(一社)千葉県建築士会　副会長
商業施設、幼保施設、マンションなど精力的に設計活動中
関東甲信越建築士会ブロック会
優良建築物表彰
平成29年・30年・令和元年・令和3年
出向元:(一社)千葉県建築士会

学生のときにしか発想出来ない夢のある作品を期待しています。学生の皆様と共に学生賞を楽しみたいと思います。

バル・ミート事務所　ウエルストン設計本社ビル

まこと第三幼稚園

鈴甲子ショールーム

コーディネーター
## 中野 正也
Msasaya NAKANO

1974年　京都府京都市生まれ
1997年　千葉工業大学工学部建築学科卒業
1997年～(株)野生司環境設計
2001年～(株)デネフェス計画研究所 取締役副所長
2001～2014　千葉工業大学工学部
　　建築都市環境学科非常勤講師
2014年～(株)neuf works(ヌフ・ワークス)設立
2016年～千葉工業大学創造工学部
　　都市環境工学科非常勤講師
第21・22回 審査員
第28回 審査副委員長
第29回 審査委員長
第30回 会長兼審査委員長
出向元:(一社)日本建築学会関東支部

船橋Sビル

船橋Sビル

上野Mホテル

## 主催者団体

(公社)日本建築家協会(JIA)
千葉地域会
● Tel：043-225-7881
建築の設計監理を行う千葉県内の建築家の団体。会員は、日本建築家協会の会員。専業建築設計事務所の主宰者、共同者、所員、官公庁、学校等に所属する建築家。

(公社)千葉県建築士事務所協会
● Tel：043-224-1640
建築士法により開設された建築士事務所の団体。会員は、建築設計事務所、建設会社の設計事務所、工務店設計事務所、不動産会社設計事務所、プレハブ業建築設計事務所等。

(一社)千葉県建築士会
● Tel：043-202-2100
建築士法により設立された一級建築士、二級建築士、木造建築士の団体。会員は、建設業、設計事務所、工務店、官公庁、学校、建材業、不動産業、プレハブ業に勤務する建築士。

(一社)日本建築学会関東支部
千葉支所
● Tel：043-202-2100
建築に関する学術・技術・芸術の促進発展を目的とする法人。全国に9支部36支所。会員は、研究教育機関、設計事務所、建設業、官公庁、公社公団、メーカー、コンサルタント、学生等多岐にわたる。

## 協力団体等

(一社)日本建築構造技術者協会
JSCA千葉
● Tel：043-225-2181
建築構造設計者、構造エンジニアで構成される職能組織。建築構造に関する賞としてJSCA賞、資格としてJSCA構造建築士を主催している。略称はJSCA。

なの花会　千葉県建築学生賞出展者の会
「なの花会」は、これまでの千葉県建築学生賞に出展した OB/OG の同窓会組織として、2009年6月に誕生しました。第一回の出展者から現役の学生まで、出身大学や世代を越えた幅広いメンバー間の、豊かな繋がりや交流を目的とした活動を行っています。



# 特別審査員

特別審査員
## Arch. Antonio Esposito
建築家　アントニオ・エスポジト

1961年　ローマ出身
国立ミラノ工科大学　卒業。建築学修士
ポローニャ大学　国立科学員
ART_Arquitectural 科学委員会メンバー
ミラノ　マリオ・ベリーニ事務所を経て、ポルト街(ポルトガル)の調査、研究等を行い、ブルースキー・エスポジト事務所設立。ポローニャ大学で教鞭を執りながら現在に至る。
受賞作は、独立200年記念メキシコ・シティ・スクウェア国際コンペ(Bruschi協働)、ウナルキテットゥーラ展覧会　他。
フェルナンド・タヴォラ等　出版、執筆多数。モンテレー(NL、メキシコ)近代的、現代的アイテム会議等を開催。
日本に於ける作品は、横浜ビジネスパーク。(With Studio Mario Bellini)

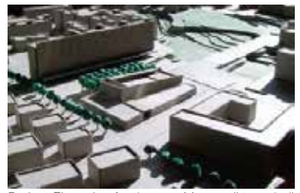
横浜ビジネスパーク　(横浜ビジネスパーク HPより)

Competition for the new Siena stadium.

Row houses in Monopoli

Competition for the south-east coast in Bari

Competition for Libertà sq. in Cesena


Project Financing for the new Monopoli town hall

Free access to the beach and bathing facilities in Monopoli

Plaza Bicentenario in Tlaxcoaque area in Mexico City

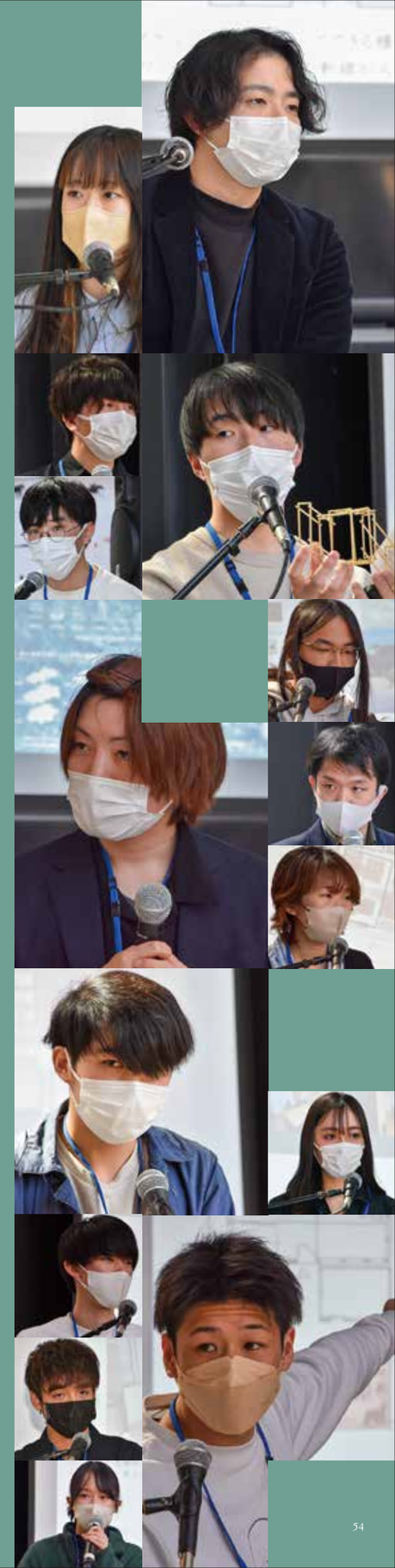
Competition for a new square and a new primary school in Bisceglie (Bari)

Competition for the haedquarters of teh Fundaciòn Arquitectura Contemporànea in Cordoba (Spain)

Competition for Villa della Regina in Turin

Competition This is Tomorrow Fundaciòn Miguel Fisac (Spain)

Competition for the railway areas in Bari



# 協賛

| | | | |
|---|---|---|---|
| (一社)日本建築構造技術者協会·JSCA千葉PAST会 会長　明智克夫 | 270-0074 | 船橋市滝台2-1-28薬円台ヒルズ301号(有)佐藤建築構造設計事務所 | 043-252-6174 |
| (株)鈴木ユニット | 262-0012 | 千葉市花見川区千種町241-11 | 043-257-5754 |
| 総合資格学院 | 273-0005 | 船橋市本町5-4-2森ビル6階 | 047-425-8034 |
| (有)佐藤建基 | 262-0019 | 千葉市花見川区朝日ケ丘4-11-5 | 090-3202-2780 |
| (有)巴工業 | 130-0002 | 東京都墨田区業平1-9-4 | 03-5608-4582 |
| (株)榎本建築設計事務所 | 260-0854 | 千葉市中央区長洲2-8-5 | 043-227-9345 |
| (株)桑田建築設計事務所 | 261-0001 | 千葉市美浜区幸町1-2-2桑田ビル内 | 043-241-7511 |
| 千葉県建設防水工事業(協) | 260-0013 | 千葉市中央区中央4-14-1千葉不動産ビル2階 | 043-222-4751 |
| (株)千葉県建築住宅センター | 260-0013 | 千葉市中央区中央4-8-5建築会館2F | 043-222-0109 |
| (株)レスト | 166-0002 | 東京都杉並区高円寺北2-2-1巳善ビル5階 | 03-5356-8866 |
| (株)建築資料研究社/日建学院 | 260-0032 | 千葉市中央区登戸1-2-20 | 043-244-0121 |
| 日本ファイリング(株) | 101-0062 | 東京都千代田区神田駿河台3-2新お茶ノ水アーバンビル8F | 080-7172-5474 |
| 児玉コンクリート工業(株) | 171-0022 | 東京都豊島区南池袋1-16-20 | 03-3971-7195 |
| (有)松原組 | 344-0022 | 埼玉県春日部市大畑9日神パレステージ112 | 048-734-4583 |
| (株)千興商事 | 264-0003 | 千葉市若葉区千城台南4-11-15 | 043-236-3211 |
| (株)スタジオ·チッタ | 260-0843 | 千葉市中央区末広1-2-6 | 043-223-7676 |
| 塚本總業(株) | 260-0005 | 千葉市中央区富士見2-3-1 | 043-227-8527 |
| (株)オカムラ | 260-0027 | 千葉市中央区新田町1-1 | 043-204-5790 |
| コクヨマーケティング(株) | 260-0045 | 千葉市中央区弁天1-15-1細川ビル4F | 043-207-5581 |
| (一社)千葉県建設業協会 | 260-0024 | 千葉市中央区中央港1-13-1建設業センター5F | 043-246-7624 |
| 日軽パネルシステム(株) | 260-0028 | 千葉市中央区新町18-14千葉新町ビル5F | 043-302-7177 |
| (株)メント | 132-0021 | 東京都江戸川区中央3-5-5 | 03-5879-5470 |
| アイカ工業(株)千葉支店 | 260-0013 | 千葉市中央区中央1-11-1千葉中央ツインビル1号館8階 | 043-382-4311 |
| (株)潮建築設計事務所 | 260-0022 | 千葉市中央区神明町206-3 ハイツ千葉市神明町2F | 043-203-8433 |
| 三協立山(株)三協アルミ社千葉事業所 | 261-0023 | 千葉市美浜区中瀬1-7-1幕張テクノガーデンB棟20階 | 043-296-3292 |
| (株)千葉測器 | 260-8567 | 千葉市中央区都町2-19-3 | 043-232-2541 |
| (株)ひらい | 299-0111 | 市原市姉崎736-1 | 0436-62-2204 |
| 日本ERI(株)千葉支店 | 260-0028 | 千葉市中央区新町3-13千葉TNビル3F | 043-203-8551 |
| (株)日立ビルシステム | 260-0031 | 千葉市中央区新千葉1-4-3WESTRIO千葉オフィス棟6階 | 043-241-1295 |
| (株)辻板金工業所 | 263-0002 | 千葉市稲毛区山王町202-15 | 043-421-13411 |
| (協)千葉県鐵骨工業会 | 260-0045 | 千葉市中央区弁天1-21-3石橋弁天ビル2階 | 043-247-2631 |
| (株)角藤千葉支店 | 260-0031 | 千葉市中央区新千葉2-7-2 | 043-246-1131 |
| (株)イトーキ | 261-7121 | 千葉市美浜区中瀬2-6-1ワールドビジネスガーデン(マリブイースト)21階 | 043-304-5510 |
| 立川ブラインド工業(株)千葉支店 | 260-0044 | 千葉市中央区松波2-8-1 | 043-252-2821 |
| TOTO | 263-0016 | 千葉市稲毛区天台1-5-5 | 0570-023301 |
| 東リ(株) | 260-0843 | 千葉市中央区末広4-18-1 | 043-208-1381 |
| リリカラ(株) | 275-0023 | 千葉市花見川区幕張本郷5-2-11アトレー幕張101 | 043-382-3375 |
| (株)須藤黒板製作所 | 132-0035 | 江戸川区平井7-17-35 | 03-3617-8701 |
| (株)青井黒板製作所 | 165-0026 | 東京都中野区新井1-1-5 | 03-3387-3330 |
| (株)技研基礎 | 260-0843 | 千葉中央区末広5-8-6 | 043-266-6812 |
| (株)恩田商工 | 260-0023 | 千葉市中央区出洲港9-10 | 043-242-1377 |
| (株)LIXIL | 136-8535 | 東京都江東区大島2-1-1 | |
| 前田製管(株)千葉支店 | 260-0007 | 千葉市中央区祐光4-7-10 | 043-221-2051 |
| 日章興(株) | 263-0043 | 千葉市稲毛区小仲台6-18-1-406 | 043-287-1211 |
| 日本高圧コンクリート(株)千葉営業所 | 260-0021 | 千葉市中央区新宿2-1-20 | 043-242-4311 |
| 文化シヤッター(株) | 264-0025 | 千葉市若葉区都賀3-33-23 | 043-231-2100 |
| (株)がもう設計事務所 | 274-0815 | 船橋市西習志野3-26-8ファインコート北習志野2B | 047-463-9901 |
| 三洋工業(株)千葉営業所 | 263-0005 | 千葉市稲毛区長沼町350-6 | 043-286-6575 |
| (株)意匠院 | 260-0027 | 千葉市中央区新田町12-15　K16　401 | 043-203-0705 |
| 田端建築デザイン事務所 | 275-0017 | 船橋市前原西2-4-9 | 047-472-3027 |
| タニコー(株) | 261-0005 | 千葉市美浜区稲毛海岸2-1-285 | 043-248-0791 |
| エスケー化研(株)千葉支店 | 263-0003 | 千葉市稲毛区小深町122-1 | 043-304-0411 |
| (株)角井 | 292-0838 | 木更津市潮浜1-17-19 | 0438-37-4121 |
| (株)国際技術コンサルタンツ | 272-0033 | 市川市市川南1-1-8市川サンハイツ206 | 047-326-5951 |
| 三和シヤッター工業(株) | 170-0013 | 東京都豊島区東池袋4-5-2ライズアリーナビル10階 | 03-4333-0571 |
| (株)ピーエルジー東京支店 | 101-0032 | 東京都千代田区岩本町1-4-5NS岩本ビル902号 | |
| 田島ルーフィング(株) | 260-0032 | 千葉市中央区登戸1-26-1朝日生命千葉登戸ビル9F | 043-244-3711 |
| コニシ(株) | 260-0044 | 千葉市中央区松波2-13-20オフィス松波 | 043-305-5970 |



# 主催者団体

## (公社)日本建築家協会千葉地域会(JIA千葉)

● 建築の設計監理を行う千葉県内の建築家の個人及び団体。
会員は、専業設計事務所の主宰者、共同者、所員、官公庁、学校等に所属する建築家

## (一社)日本建築学会 関東支部·千葉支所

● 建築に関する学術·技術·芸術の促進発展を目的とする法人。
全国9支部36支所。会員は、研究教育機関、設計事務所、建設業、官公庁、公社公団、
メーカー、コンサルタント、学生等多岐にわたる。

## (一社)千葉県建築士会

● 建築士法により設立された1級建築士、2級建築士、木造建築士の団体。
会員は、建設業、設計事務所、工務店、官公庁、学校、建設業、不動産業、プレハブ業に勤務する建築士。

## (公社)千葉県建築士事務所協会

● 建築士法により設立された建築士事務所の団体。会員は、建築設計事務所、建設会社の設計事務所、工務店設計事務所、
不動産会社設計事務所、プレハブ業に勤務する地区設計事務所等。

# 企画·発行　千葉県建築学生賞協議会

| | |
|---|---|
| 会長 / 審査委員長 | 河原泰 |
| 副審査委員長 | 磯野智由 |
| 審査委員 | 河内一泰·蒲生良隆·田邊曜·佐々木達郎·向後勝弘 |
| 特別審査委員 | Arch. Antonio Esposito [建築家·ボローニャ大学国立科学院 非常勤講師] |
| 審査コーディネーター | 中野正也 |
| 会場委員会 | 小島聡·青山貴仁·桑田浩司·岡田修治·野村優太·平野武·皆川拓 |
| 受入·編集·得点表示委員会 | 萩原進·小野真路·岡田学 |
| 表彰·市民賞委員会 | 牧野鳴彩子·飯沼竹一·長谷川舞·鈴木雄介·櫻井彩 |
| JIA出展委員会 | 田端友康 |
| レビュー(検討)委員会 | 中野正也·佐久間達也·岡松利彦·関谷和則·西山芽衣 |
| 高校委員会 | 林祐介·鈴木宏太·徳野淳哉 |
| 協賛委員会 | 鈴木周二·鈴木克則·平野武·山田紀夫·船田潤·前平晴男·平宅武司·山本聡·岡田修治·長谷川舞·平瀬慎一郎·合田武彦·川原尚記·武井猛 |
| 交流委員会 | 平宅武司·鈴木克則 |
| オブザーバー | 寺川典秀·神成健·森田敬介·福田幸則 |
| 歴代会長会(*:執行役員) | 明智克夫·清水怡·櫻井修·宇野武夫·佐竹良造·寺川典秀·加藤文男·森田敬介*·星野治*·古里正*·大岩義充·柳田富士男*·安達文宏*·神成健*·中野正也·田端友康*·飯沼竹一 |
| 事務局 | 小島聡·矢内美恵 |
| 表紙デザイン | 佐藤有希子(東京理科大学大学院 第34回最優秀賞) |
| 編集/デザイン/印刷 | 株式会社みつわ |
| WEBサイト制作 | 株式会社みつわ |